

CyberLink

# **PowerProducer 4**

User's Guide

## 使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文の End User License Agreement（'EULA'）の理解を補助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を払って作成しておりますが、一部意訳されている部分があり、本契約の詳細につきましては英文契約書を正式文書としてご覧頂きたいと思っております。

### End User License Agreement（EULA）：使用許諾契約書

当製品（以下「本ソフトウェア」という）の導入およびご利用の前に、以下の使用許諾契約書（以下「本契約書」とする）をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾されたものとし、

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様（個人または法人のいずれであるかを問いません）と CyberLink Corp.（以下「サイバーリンク」といいます）との間に締結される法的な契約書となります。

### ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中に表示される本契約の同意を求め画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

### 使用権の許諾

サイバーリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これによりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコンピュータへインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用することができます。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物（以下「関連印刷物」といいます）の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リパス・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などとはできないものとします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフトウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとします。この場合、最初のお客様は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に

読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただくものとします。これにより、当該ソフトウェアのご利用ライセンスは自動的に解除されます。

## 所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他のすべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、その一切についてサイバーストックに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利はすべてサイバーストックによって留保されます。

## アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の著作権は本ソフトウェアの著作権に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意されたものとし、お客様による従来製品の使用ならびに第三者への譲渡はできなくなります。

## 第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコンテンツを再生し利用する場合、その権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。

## 保証及び責任の限定

サイバーストックは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェア又は関連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

サイバーストックは、本ソフトウェア及び関連印刷物の機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフトウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。

お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを含む一切を、物理的および電子的に読み取りできない状態で破棄するとともに、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。本契約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾における法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act. に準ずるものとします

# 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>1</b>
ようこそ .....	2
作品作成の流れ .....	4
作成前処理 .....	4
ディスク作成 .....	5
書き込み準備の完了 .....	5
PowerProducer プログラム .....	6
PowerProducer プロジェクト .....	7
ソフトウェアのアップグレード .....	8
作品の環境設定 .....	9
プロジェクトの環境設定 .....	9
ビデオ / 音声の環境設定 .....	10
サポートする形式 .....	12
システム要件 .....	13
<b>ムービーディスクの作成</b> .....	<b>15</b>
ディスク形式の選択 .....	16
コンテンツの取得 .....	19
ビデオファイルの読み込み .....	21
静止画ファイルの読み込み .....	21
DV カメラからのキャプチャ .....	22
HDV カメラからのキャプチャ .....	24
TV からのキャプチャ .....	25
ビデオからのキャプチャ .....	26
PC カメラからのキャプチャ .....	28
デジタルカメラからのキャプチャ .....	29
ビデオクリップのアスペクト比の調整 .....	30
編集 .....	31

カット .....	31
結合 .....	32
分割 .....	32
動画用の高度な編集（オプション） .....	33
フォトスライドショーの作成 .....	34
新しいアルバムの作成 .....	34
アルバムへの写真の追加 .....	34
アルバムのプロパティの表示 .....	35
アルバムへの BGM の追加 .....	35
表示時間の設定 .....	36
静止画ファイルのバックアップ .....	36
タイトルサムネイル画像の設定 .....	36
静止画用の高度な編集（オプション） .....	37
筋書きの整理 .....	38
ディスクのメニューページのカスタマイズ .....	40
メニューページのテンプレートの選択 .....	40
チャプタの作成 .....	45
チャプタの自動作成 .....	45
チャプタの手動作成 .....	45
チャプタの削除 .....	46
プレイリストの追加 .....	47
プレイリストの選択 .....	48
ディスクコンテンツのプレビュー .....	49
作品のプレビュー .....	49
DVD 構造の表示 .....	50
クリップのプロパティの表示 .....	50
ディスクのプロパティの表示 .....	50
書き込みの設定 .....	52
書き込み設定 .....	52
ディスクへの作品の書き込み .....	53
ディスクイメージとしての作品の保存 .....	55
DVD フォルダの作成 .....	57
書き込み終了後のディスク編集 .....	59

**Right-to-Disc ..... 61**

DV カメラからの DVD やブルーレイディスクへの動画書き込み .....	63
HDV カメラからのブルーレイディスクへの動画書き込み	66
TV からの DVD やブルーレイディスクへの動画書き込み	69
PC カメラからの DVD やブルーレイディスクへの動画書き込み .....	73
ビデオデッキからの DVD やブルーレイディスクへの動画書き込み .....	76

**ディスクユーティリティ ..... 81**

PowerProducer のディスクユーティリティ .....	82
ディスクの消去 .....	84
ディスクのコピー .....	86
ディスクイメージからの書き込み .....	88
ディスクイメージの保存 .....	89
DVD フォルダからの書き込み .....	90

**参考資料 ..... 91**

よくある質問と回答 .....	92
ディスクのタイプとビデオレコーディング形式 .....	94
ディスクのタイプ .....	94
ビデオレコーディング形式 .....	97
ディスクのタイプと形式の互換性 .....	99
形式と画質 .....	100
ビデオ形式 .....	100
画質 .....	100
音声形式 .....	101

<b>テクニカルサポート .....</b>	<b>103</b>
テクニカルサポートにお問い合わせになる前に .....	104
Web サポート .....	105
電話サポート .....	105
電子メールサポート .....	106
<b>索引.....</b>	<b>107</b>



## 第 1 章：

# はじめに

この章では、CyberLink PowerProducer、およびデジタルムービー作成手順について説明します。また、作業を始める前に用意しておく必要のあるものについても、説明します。ムービーの作成をすぐに開始する方法についての説明は、15 ページの「ムービーディスクの作成」をご覧ください。

この章には、次の節があります。

- 2 ページの「ようこそ」
- 4 ページの「作品作成の流れ」
- 6 ページの「PowerProducer プログラム」
- 7 ページの「PowerProducer プロジェクト」
- 8 ページの「ソフトウェアのアップグレード」
- 9 ページの「作品の環境設定」
- 12 ページの「サポートする形式」
- 13 ページの「システム要件」

# ようこそ

CyberLink デジタルビデオツールによるこそ。CyberLink PowerProducer を使用すると、デジタルビデオ作成を完了して、ディスクに書き込むことができます。また、簡単な編集作業や新しいメディアのキャプチャも行えます。CyberLink PowerProducer は、ムービーをさらに洗練されたものにするには最適のツールです。

作成ツールとは何でしょう。

作成ツールは、ディスクプレイヤーで再生したり友人と一緒に楽しんだりするために、ムービーをハードディスクドライブからブルーレイディスクや HD DVD、DVD、VCD に書き込むのに使用します。それだけではありません。CyberLink PowerProducer の作成機能には次のようなものも含まれています。

## メディアのインポートとキャプチャ

- ビデオファイルや写真のインポート
- DV および HDV カメラからのキャプチャ
- TV やビデオからのキャプチャ
- ウェブカメラやデジタルカメラからのキャプチャ

## ビデオと写真の編集

- ビデオクリップのカット、結合、分割
- BGM の間隔にあわせたスライドショーの長さの調整
- スライドショーへのトランジションの追加

## ディスクのカスタマイズ

- ビデオのサムネイルと背景を使用したディスクメニューの作成
- ビデオコンテンツへのチャプタの設定
- ディスクメニューへの BGM の追加

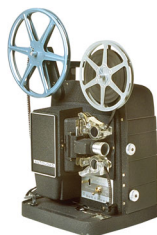
## ディスクの書き込みとユーティリティ

- CD、DVD、HD DVD、およびブルーレイディスクへの書き込み

- 多様なソースからのビデオの直接書き込み
- 不要なコンテンツを保存したディスクの消去
- ディスクイメージを使用したディスクのコピーと書き込み

# 作品作成の流れ

生のビデオ画像から、ムービー作品をディスクに書き込むまでのデジタルムービーの作成手順には、芸術的な側面と技術的な側面とがあります。CyberLink PowerProducer は、ムービーを完成させて好みのディスクに書き込む最も簡単な方法を提供します。



## 作成前処理



CyberLink PowerProducer でムービーを作成する前に、まずその構成要素を集めたり、作成したりする必要があります。たとえば、ビデオファイルや写真、BGM などが重要です。

ビデオカメラなどの録画機器を使って生の画像を撮ったり、著作権フリーのメディアファイルを使ったりしても良いでしょう。

また、CyberLink PowerDirector などのビデオ編集プログラムを使って作った自作ビデオを使うこともできます。

どのような方法でもかまいませんので、ムービーのパーツをあらかじめすべて用意して、作成作業がスムーズに進むように準備します。

## ディスク作成



ムービーの作成準備が整ったら、いよいよ CyberLink PowerProducer を使用します。CyberLink PowerProducer には基本的な編集ツールが用意されていますので、この段階でムービーが完成されていなくてもかまいません。

編集や仕上げが済んでいないメディアクリップを使用する場合、CyberLink PowerProducer で次のような作業をします。

1. 使用するディスクのタイプと画質を指定する。
2. ビデオコンテンツを取得してスライドショーを追加する。
3. ビデオコンテンツを適切な長さにカットする。
4. ビデオをチャプタに分割してディスクナビゲーションを行えるようにする。
5. ビデオクリップに BGM を追加する。
6. メニューページのボタン、背景画像、BGM、レイアウトを指定する。
7. 作品をプレビューする。
8. 作品をディスクに書き込む。

## 書き込み準備の完了

ムービーをディスクに書き込む準備が完了したら、使用する書き込みドライブに対応したディスクを何枚か用意します。メディアのタイプが合っている（たとえば DVD ドライブを使用する場合は DVD を使うなど）のほかに、ディスクの形式（CD-R、DVD+RW、BD-RE、HD DVD-R など）があっっていることも必要です。

ディスクは余分に用意して、作成に失敗した場合や、成功したときにコピーを何枚か作る場合に備えておきましょう。

# PowerProducer プログラム

CyberLink PowerProducer を初めて起動すると、次のような画面が表示されます。

## ムービーディスクの作成

メディアの取得、写真スライドショーの作成、ムービー作品の作成を行います。

## ディスクの編集

書き込み終了後にディスクを編集します。



ディスクユーティリティ ディスクおよび作品 ファイルを管理します

## Right-to-Disc

ビデオを DVD に直接書き込みます。

## プロジェクトを開く

既存の CyberLink PowerProducer プロジェクトを開きます。

# PowerProducer プロジェクト



PowerProducer プロジェクトを開くには、CyberLink PowerProducer のメインウィンドウで【プロジェクトを開く】をクリックします。CyberLink PowerProducer では、プロジェクトが .PPP ファイルとして保存されます。このプロジェクトファイルはユーザー指定のムービーコンテンツ、特殊効果、設定で構成された、**未完**の作品です。作品を完成させるには、構成要素をまとめたり作成したりして、ファイルを仕上げる必要があります。つまり、卵や粉、牛乳を使って作った生地を、焼き上げてケーキにするような作業です。


CyberLink PowerProducer でビデオクリップや音声ファイル、写真に変更を加えても、元のメディアには**影響しません**。設定はすべてプロジェクトファイルに保存されるため、CyberLink PowerProducer でクリップをカットしたり編集したり削除したりしても、オリジナルのファイルは元のままハードディスクに残ります。安心してお楽しみください。変更を加えすぎてしまった場合でも、いつでも最初からやり直すことができます。

新しい CyberLink PowerProducer プロジェクトファイルの作成や、既存のプロジェクトファイルの起動や保存には、Windows で提供されている標準のボタンを使用できます。このような操作に使用するボタンは、ウィンドウの上部にあるほとんどの CyberLink PowerProducer 機能で提供されています。



注：これらのツールは、すべての機能で使用できるとは限りません。

# ソフトウェアのアップグレード

ソフトウェアのアップグレードは定期的に提供されます。ソフトウェアをアップグレードするには、ウィンドウ上部にある一連のボタンのうち、 をクリックします。Web ブラウザのウィンドウに CyberLink のサイバーストアが開き、プログラムのアップグレードを行えます。また、CyberLink や CyberLink 製品の情報も見ることができます。

**注：**この機能を使用するには、インターネットに接続する必要があります。



# 作品の環境設定

多様な作業方法をサポートするため、CyberLink PowerProducer にはさまざまな環境設定が用意されています。環境設定を行うには、



ボタンをクリックします。このボタンは、ほとんどのウィンドウに用意されています。[環境設定]ダイアログボックスが開き、[全般]タブと[プロファイル]タブが表示されます。これらのタブにある環境設定は、カスタマイズできます。次に、環境設定について説明します。

## プロジェクトの環境設定

**注:** 使用できるプロジェクトのオプションは、選択したディスクのフォーマットによって変わります。

- **タイトル再生後の動作:** ムービーの終了後に、ディスクメニューに戻るか、ディスクにある次のムービーを再生するかを、ビデオに設定します。
- **作業用フォルダ:** CyberLink PowerProducer で出力用に使用するディレクトリです。このディレクトリは、インストール時に設定します。このディレクトリを変更する場合、作品を保存するのに十分な空き容量が変更先のハードディスクにあることを確認してください。
- **一時保存フォルダ:** CyberLink PowerProducer で一時ファイルを作成する際に使用するディレクトリです。一時ファイルは、CyberLink PowerProducer を終了すると自動的に削除されます。このディレクトリは、インストール時に設定します。
- **デフォルトのファイル名:** キャプチャしたビデオファイルに付ける名前を指定します。個々のキャプチャファイルを識別するため、CyberLink PowerProducer によって一意なタイムスタンプが付加されます。
- **書き込みを行うデータの自動分割:** キャプチャしたビデオを分割して、ビデオファイルが使用するタイプのディスクにおさまるようにします。
- **チャプタポイントの設定:** 設定した時間が経過するごとに、新しいチャプタが自動的に作成されます。

- **Cyberlink MPEG@Best の使用** :MPEG ビデオを書き込む際に、書き込み速度とビデオ画質のバランスをとる場合、これを選択します。
- **サムネイルの番号設定** :ディスクメニューにサムネイルインデックスを追加する場合、これを選択します。表示されるサムネイルは静止画のみで、動画ではありません。
- **モーションサムネイルの使用** :ディスクメニューにモーションサムネイルを表示するには、これを選択します。このオプションの選択時には、**[モーションの継続時間]** オプションに値を入力すると、表示するビデオの長さを限定できます。
- **消去後、ディスクをイジェクトする** :消去が完了した後、自動的にディスクをイジェクトする場合、これを選択します。
- **TV で再生可能な範囲の表示** :ディスクメニューの作成時、**[オーサリング]** ウィンドウに TV で再生可能な範囲を示すボックスを表示する場合、これを選択します。この機能を使用すると、テキスト、サムネイル、ボタンなどのメニューアイテムがほとんどの TV で表示できるものであるかどうか確認できます。
- **デフォルトのメニュー設定** :新しい CyberLink PowerProducer プロジェクトのスタイルとして使用するお気に入りのスタイル (.fl ファイル) を指定します。

## ビデオ / 音声の環境設定

注 : 使用できる画質や音質のオプションは、選択したディスクのフォーマットによって変わります。

- **画質** : ビデオの画質を次のうちから選択できます。 **HD (ハイビジョン)**、**SD (標準画質)**、**HQ (高画質)**、**SP (標準)**、**LP (長時間)**、**EP** または **Smart Fit**。画質設定にはさまざまなビットレートが提供されており、出来上がるファイルのサイズに影響します。ビデオの画質が上がる、ファイルが大きくなり、ディスクに収めることができる長さが短くなります。また、高画質ビデオのキャプチャ

や表示には、より大きな CPU パワーが必要となります。

**[Smart Fit]** オプションでは、使用するディスクの容量に納まる最も高い画質のビットレートを自動的に使用します。

- **音声品質**: 音声品質の種類は次のとおりです。[LPCM] は、無圧縮音声形式です。[Dolby Digital] は、Dolby Digital 形式を使用した音声形式です。[MPEG audio] は、MPEG audio 形式を使用した音声形式です。(この音声形式は、NTSC との互換性に問題がある場合があります。)[MP3] は、MPEG-1 Layer 3 形式です。
- **TV 信号形式**: ディスクを再生する地域を選択します。これにより、使用する TV 形式 (PAL または NTSC) が決まります。

# サポートする形式

CyberLink PowerProducer では、次の形式のファイルをプログラムにインポートできます。

音声入力形式 : .mp3、.wav、.wma

画像入力形式 : .bmp、.jpg、.jpeg、.gif、.tif、.tiff、.psd

ビデオ入力形式 : .mpg、.mpeg、.avi、.dat、.wmv、.asf、.vob、.dvr-ms

CyberLink PowerProducer でサポートするディスクとファイルの形式は次のとおりです。

ディスクのタイプ	ファイルの形式
BD-RE、BD-R	BD-RE、BD-R
HD DVD-R	HD DVD Video
DVD-R、DVD-RW、DVD+R、 DVD+RW、DVD-RAM、DVD- R DL、DVD+R DL	DVD-Video、DVD-VR、 DVD+VR
CD-R、CD-RW	VCD、SVCD

# システム要件

次に、このプログラムを使用する際に推奨する最小限のシステム要件を記載します。使用するシステムがこの要件を満たしていても、一部の作業を行うためにはシステムの拡張が必要になる場合があります。

## 最小限のシステム要件

OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Vista/XP/2000</li> </ul>
CPU	<ul style="list-style-type: none"> <li>VCD (MPEG-1) 作成 :Intel Pentium II 450 MHz、または AMD Athlon 500 MHz</li> <li>DVD (MPEG-2) 作成 :Intel Pentium III 700 MHz、または AMD Athlon 700 MHz</li> <li>DV テープから MPEG-1 へのリアルタイムキャプチャ :Intel Pentium III 800 MHz、または AMD Athlon 800 MHz</li> <li>DV テープリアルタイムキャプチャ :Intel Pentium 4 2.4 GHz、または AMD Athlon XP 2400+</li> <li>DV テープ非リアルタイムキャプチャ :Intel Pentium II 450 MHz、または AMD Athlon 500 MHz</li> <li>Right-to-Disc: Intel Pentium 4 2.2 GHz (Pentium 4 2.4 GHz を推奨) または AMD Athlon XP 2200+</li> <li>HDV テープリアルタイムキャプチャ: Intel Pentium 4 2.4 GHz</li> <li>DV から DVD へのダイレクト録画 Intel Pentium 4 2.4 GHz (Pentium 4 2.8 GHz を推奨) または AMD Athlon XP 2200+</li> <li>HDV からブルーレイディスクへのダイレクト録画 Intel Pentium 4 2.4 GHz</li> </ul>

## 最小限のシステム要件

- メモリ
- 128MB SDRAM (256MB SDRAM を推奨)
  - Right-to-Disc 操作には 256MB (512MB を推奨)
  - HDV からブルーレイディスクへのダイレクト録画には 512MB

- 
- ハード  
ディスク  
容量
- VCD 作成では 1GB
  - DVD 作成では 5GB
  - HD DVD 作成では 15GB
  - ブルーレイディスク作成では 25GB

- 
- DV/HDV
- OHCI IEEE 1394 対応デバイス

- 
- キャプ  
チャデバ  
イス
- アナログビデオキャプチャ :WDM 規格に準拠した USB または PCI キャプチャデバイス
  - DV カメラビデオキャプチャ :OHCI 規格に準拠した IEEE 1394 入出力デバイス
  - DSC 写真のインポート :USB インターフェイス

**注 :** ビデオのキャプチャ中に HDV コンテンツをプレビューするには、nVidia 6200 ( またはそれ以上 ) または ATI X700 ( またはそれ以上 ) のグラフィックカードをご使用になることをお勧めします。

**注 :** 一部のビデオカメラは、PC 上で外部ドライブとして認識されません。その場合は、Right-to-Disc 機能は使用できません。ファイルを選んで、それをディスクの編集に読み込む必要があります。

## 第2章：

# ムービーディスクの作成

この章では、コンテンツのキャプチャから、完成した作品のディスクへの書き込みにいたる、ムービーの作成手順について説明します。また、さまざまな機能を駆使したビデオ作品や写真スライドショーの作成、ディスクのカスタマイズ、書き込み後のディスクの編集についても説明します。この部分は、作成作業の中で最もクリエイティブで楽しいところです。

この章には、次の節があります。

- 16 ページの「ディスク形式の選択」
- 19 ページの「コンテンツの取得」
- 31 ページの「編集」
- 34 ページの「フォトスライドショーの作成」
- 38 ページの「筋書きの整理」
- 40 ページの「ディスクのメニューページのカスタマイズ」
- 45 ページの「チャプタの作成」
- 47 ページの「プレイリストの追加」
- 49 ページの「ディスクコンテンツのプレビュー」
- 50 ページの「DVD 構造の表示」
- 52 ページの「書き込みの設定」
- 59 ページの「書き込み終了後のディスク編集」

注：使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。

# ディスク形式の選択



ムービーディスクを作成するには、まず使用するディスクの形式を選択します。ディスクの形式は、使用するディスクドライブの種類、作成するビデオの長さや画質、再生に使用する機器を考慮して決定します。

ムービーディスクの作成を始めるには、次のように行います。

1. CyberLink PowerProducer を開きます。






2. **【ムービーディスクの作成】**をクリックします。**【ディスク形式の選択】**ウィンドウが開きます。



3. 使用するディスク形式を以下から選択します。
  - **VCD**: 低品質のビデオまたはスライドショーを作成するのに適しています。
  - **DVD**: 長時間の高品質のビデオを作成するのに適しています。(DVD 書き込みドライブが必要です。)
  - **ブルーレイディスク**: ブルーレイディスクプレイヤーで再生する高品質のハイビジョンビデオを作成するのに適しています。(ブルーレイディスク書き込みドライブが必要です。)
  - **HD DVD**: HD DVD プレイヤーで再生する高品質のハイビジョンビデオを作成するのに適しています。(HD DVD 書き込みドライブが必要です。)
4. 必要に応じてその他のオプションを以下から設定します。

- **ビデオレコーディング形式**：ビデオレコーディング形式を選択してください。詳しくは、97 ページの「ビデオレコーディング形式」を参照してください。
  - **ディスクサイズ**：使用するディスクのサイズを選択してください。
  - **TV アスペクト比**：使用しているディスクの TV アスペクト比を選択します。TV アスペクト比に関するの詳細は、92 ページの「よくある質問と回答」を参照してください。
5.  をクリックして続けます。

# コンテンツの取得


ビデオ作品を作るには、まずビデオコンテンツを取得する必要があります。CyberLink PowerProducer にインポートすればよいだけのデジタルファイルをすでに所有している場合もありますが、アナログやデジタルの生ソースからキャプチャしなければならない場合もあります。

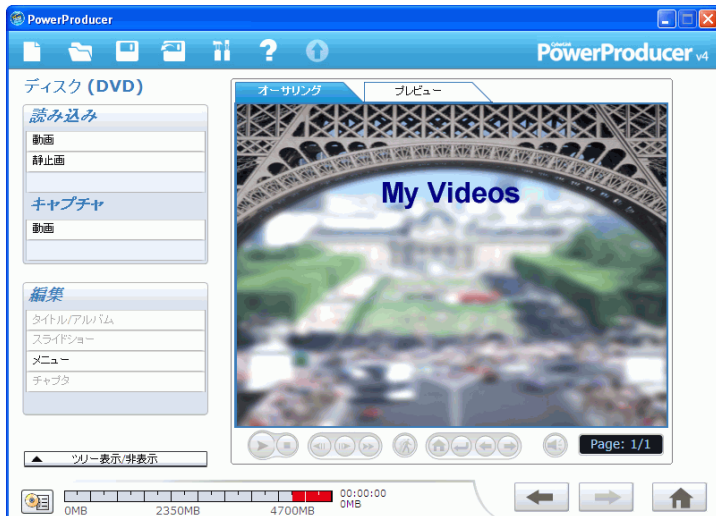
作品には、ビデオと写真の両方を同時に使用できます。ビデオクリップと静止画像いっしょに使うには、ビデオメディアを個別に取得して、静止画用のスライドショーを作成する必要があります（21ページの「静止画ファイルの読み込み」を参照してください）。

インポートとキャプチャの機能は、【ムービーディスクの作成】機能の【ディスク】ウィンドウにあります。

【ディスク】ウィンドウを開くには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. 【ムービーディスクの作成】をクリックします。

3. ディスクのタイプを選択して、をクリックします。[ディスク]ウィンドウが開きます。



4. インポートまたはキャプチャするソースを、左側にある使用できるデバイスの一覧から選択します。

コンテンツの取得手順は、使用するデバイスの種類によって異なります。次の節では、使用するシステムにある機器でコンテンツを読み込んだりキャプチャしたりする手順を説明します。

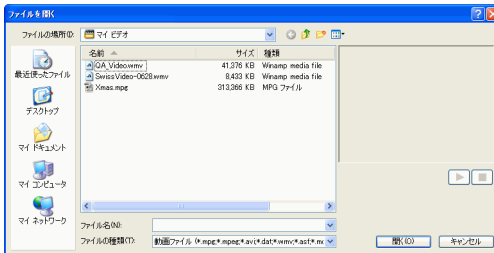
インポートしたら、ビデオクリップと写真が（アルバム形式で）サムネイルとして [オーサリング] ウィンドウに表示されます。ビデオクリップに行える操作については、31 ページの「編集」を参照してください。写真に行える操作については、34 ページの「フォトスライドショーの作成」を参照してください。

**注：**読み込んだビデオクリップのアスペクト比は、元のクリップのアスペクト比で決定されます。ビデオクリップのアスペクト比は、手動でも調整できます。30 ページの「ビデオクリップのアスペクト比の調整」を参照してください。

**注：**一部のビデオカメラは、PC上で外部ドライブとして認識されません。その場合は、**Right-to-Disc** 機能は使用できません。ファイルを選んで、それをディスクの編集に読み込む必要があります。

## ビデオファイルの読み込み

CyberLink PowerProducer で使用するビデオファイル（音声部分も含む）を読み込むには、[ディスク] ウィンドウの [読み込み] オプションにある **[動画ファイル]** をクリックします。



[開く] ダイアログボックスからビデオを読み込むこともできますが、ひとつ違いがあります。CyberLink PowerProducer では、開く前にビデオをプレビューすることができます。プレビュー画像は、プレビューウィンドウの下にあるボタンを使って、開始したり停止したりできます。

**注：**DVR-MS 形式のファイルを読み込む際には、CyberLink PowerProducer で処理できるように MPEG ファイルに変換されます。この MPEG ファイルはあとでまた使用できるように、ユーザーが手作業で削除するまでハードディスクに残ります。

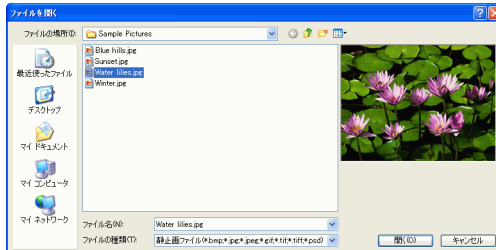
## 静止画ファイルの読み込み

CyberLink PowerProducer でスライドショーとして使用するために、静止画ファイルを読み込めます。スライドショーは、静止画ファイル、トランジション、BGM を使用した表現方法です。静止画ファイルとスライドショー設定は、アルバムという単位で保存されます。

スライドショーの各アルバムには、BGM ファイルとトランジションタイプを1つずつ追加できます。

静止画ファイルを読み込むには、次の操作を行います。

1. [ ディスク ] ウィンドウの [ 読み込み ] オプションにある [ **静止画ファイル** ] をクリックします。[ スライドをアルバムに追加 ] ダイアログボックスが開きます。



2. 追加する静止画ファイルを開きます。静止画がストーリーボード上にスライドとして表示され、最初のスライドがアルバムのウィンドウにサムネイルとして表示されます。
  - アルバムにさらにスライドを追加するには、[ **スライドの追加** ] をクリックしてから、追加する静止画ファイルを開きます。

注：1つのアルバムには、最大 256 の静止画を追加できます。

## DV カメラからのキャプチャ

[ **DV カメラ** ] を選択して、CyberLink PowerProducer で使用するビデオファイル（音声部分も含む）を DV カメラから読み込むことができます。

DV カメラのキャプチャを行うには、次のようにします。

1. [ ディスク ] ウィンドウの [ キャプチャ ] オプションにある [ **動画** ] をクリックします。

- 開いたウィンドウのドロップダウンから [DV カメラ] を選択します。



- キャプチャするコンテンツを探します。

**注：**DV カメラが VCR モードになっていることを確認してください。

- プレビューウィンドウの下にある再生ボタンを使用できません。
  - キャプチャする動画の最初のフレームの時間コードを入力することもできます。
  - 【録画時間の設定】** フィールドに時間を指定すると、動画を現在の位置から指定した長さだけ自動的にキャプチャできます。
- をクリックしてキャプチャを開始します。
  - 必要な動画をキャプチャし終えたら、■ をクリックして操作を終了します。

**注：**ノンリアルタイムキャプチャでは、フレーム落ちを防ぐためにビデオの再生終了後もキャプチャや処理を継続することがあります。

## HDV カメラからのキャプチャ

**[HDV カメラ]**を選択して、CyberLink PowerProducer で使用するビデオファイル（音声部分も含む）をHDV カメラから読み込むことができます。

HDV カメラのキャプチャを行うには、次のようにします。

1. [ディスク]ウィンドウの[キャプチャ]オプションにある**[動画]**をクリックします。
2. 開いたウィンドウのドロップダウンから**[HDV カメラ]**を選択します。





3. キャプチャするコンテンツを探します。

**注：**カメラが VCR モードになっていることを確認してください。

- プレビューウィンドウの下にある再生ボタンを使用できません。
- キャプチャする動画の最初のフレームの時間コードを入力することもできます。



- **【録画時間の設定】**フィールドに時間を指定すると、動画を現在の位置から指定した長さだけ自動的にキャプチャできます。
4.  をクリックしてキャプチャを開始します。
  5. 必要な動画をキャプチャし終わったら、 をクリックして操作を終了します。

**注：**ノンリアルタイムキャプチャでは、フレーム落ちを防ぐためにビデオの再生終了後もキャプチャや処理を継続することがあります。

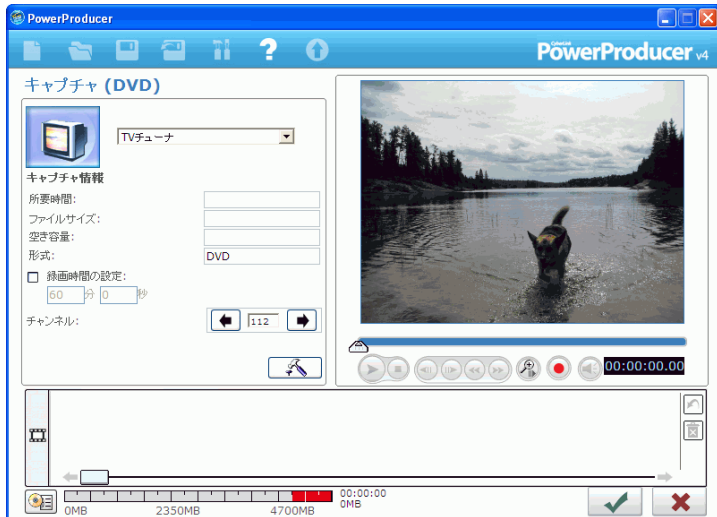
## TVからのキャプチャ




**【TV】** オプションを選択して、CyberLink PowerProducer で使用する動画ファイル（音声部分も含む）を TV から読み込むことができます。

TV のキャプチャを行うには、次のようにします。

1. **【ディスク】** ウィンドウの **【キャプチャ】** オプションにある **【TV】** をクリックします。

2. 開いたウィンドウのドロップダウンから [アナログ TV] を選択します。



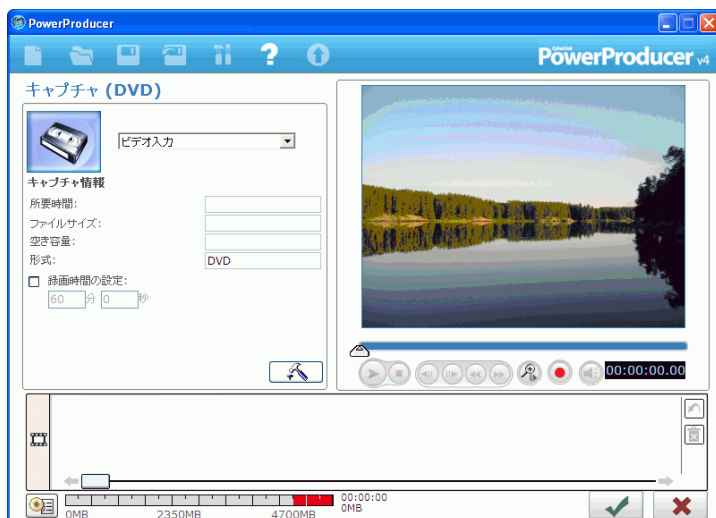
3. 録画するチャンネルを選択します。
  - **【録画時間の設定】** フィールドに時間を指定すると、動画を録画開始時から指定した長さだけ自動的にキャプチャできます。
  -  をクリックして、その他の設定オプションを指定するダイアログボックスを開きます。
4.  をクリックしてキャプチャを開始します。
5. 必要な動画をキャプチャし終わったら、 をクリックして操作を終了します。




## ビデオからのキャプチャ

**【ビデオ入力】** オプションを選択して、CyberLink PowerProducerで使用する動画ファイル（音声部分も含む）をビデオから読み込むことができます。

ビデオのキャプチャを行うには、次のようにします。

1. [ディスク]ウィンドウの[キャプチャ]オプションにある【**動画**】をクリックします。
2. 開いたウィンドウのドロップダウンから[VCR]を選択します。



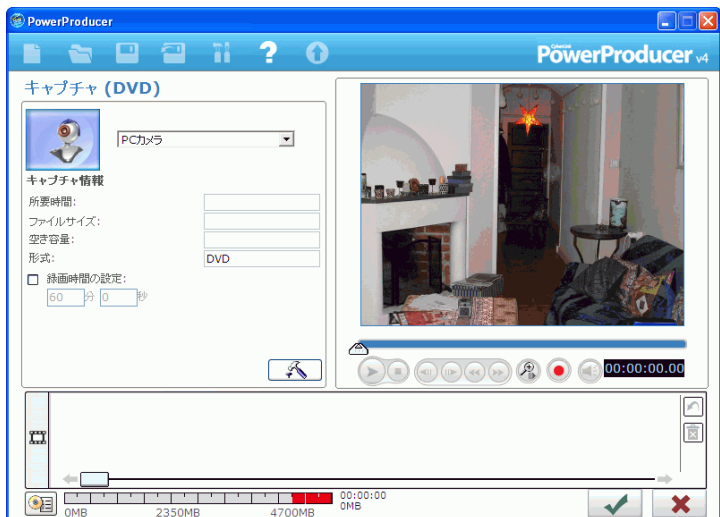
3.  をクリックして、その他の設定オプションを指定するダイアログボックスを開きます。
4.  をクリックしてキャプチャを開始します。
5. 【**録画時間の設定**】フィールドに時間を指定すると、動画を録画開始時から指定した長さだけ自動的にキャプチャできます。
6. 必要な動画をキャプチャし終わったら、 をクリックして操作を終了します。



## PC カメラからのキャプチャ


**【PC カメラ】** オプションをを選択して、CyberLink PowerProducer で使用する動画ファイルを PC カメラ（ウェブカメラ）から読み込むことができます。

PC カメラのキャプチャを行うには、次のようにします。

1. [ディスク] ウィンドウの [キャプチャ] オプションにある **【動画】** をクリックします。
2. 開いたウィンドウのドロップダウンから **【PC カメラ】** を選択します。



-  をクリックして、その他の設定オプションを指定するダイアログボックスを開きます。
3.  をクリックしてキャプチャを開始します。
- **【録画時間の設定】** フィールドに時間を指定すると、動画を録画開始時から指定した長さだけ自動的にキャプチャできます。

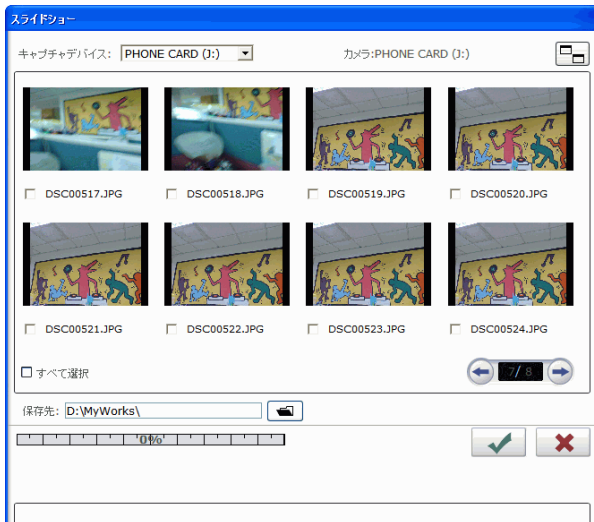
4. 必要な動画をキャプチャし終わったら、をクリックして操作を終了します。

## デジタルカメラからのキャプチャ






【デジタルカメラ】オプションをを選択して、CyberLink PowerProducer で使用する静止画ファイルをデジタルカメラから読み込むことができます。

デジタルカメラのキャプチャを行うには、次のようにします。

1. [ディスク]ウィンドウの[キャプチャ]オプションにある【静止画ファイル】をクリックします。[フォトスライドショー]ダイアログボックスが開きます。




2. ドロップダウンボックスで使用するカメラを選択します。
3. キャプチャする静止画を選択します。
  - すべての静止画を選択するには、【すべて選択】オプションを選択します。

- サムネイルの大きさを切り替えるには、をクリックします。
  - サムネイルが1つのページに収まりきれない場合、ボタンやボタンを使用して、別のページにあるサムネイルを見ることができます。
- をクリックし、静止画を保存するディレクトリを選択します。
  - をクリックします。

## ビデオクリップのアスペクト比の調整

ビデオクリップを読み込みまたはキャプチャする場合には、CyberLink PowerProducer が自動的にビデオクリップのアスペクト比を検出します。使用するビデオクリップのアスペクト比が異なる場合には、ビデオクリップのアスペクト比を手動で調整して、動画のアスペクト比と合わせるすることができます。

ビデオクリップのアスペクト比を手動で調整するには、次のようにします。

- 作成者ウィンドウからビデオクリップを選択します。
- マウスでビデオクリップを右クリックして、**【プロパティ】**を選択し、ビデオプロパティウィンドウを開きます。
- ビデオクリップに使用するアスペクト比を選択して、をクリックします。





# 編集


編集オプションは、[ムービーディスクの作成]機能の[編集]ウィンドウにあります。このオプションは、動画の編集とスライドショーの編集の両方に使えます。

## カット

[カット]オプションを使用すると、クリップの端をカットしたり、途中部分を切り出して両端だけを使用したりできます。

クリップをカットするには、次の操作を行います。






1. [編集]タイトルの下にある【**タイトル / アルバム**】をクリックします。
2. 【**カット**】タブをクリックします。
3. カットするクリップをクリックします。
4. 次のいずれかの操作を行って、開始位置を設定します。
  - 入力ボックスに開始位置とする時間 / スライド番号を入力して、をクリックします。
  - プレビューウィンドウの下にあるスライダを開始位置までドラッグして、をクリックします。
5. 次のいずれかの操作を行って、終了位置を設定します。
  - 入力ボックスに終了位置とする時間 / スライド番号を入力して、をクリックします。
  - プレビューウィンドウの下にあるスライダを終了位置までドラッグして、をクリックします。
6. 次をクリックします。
  - オレンジ色で示す部分を残すには、【**選択した部分**】
  - オレンジ色で示す部分を削除するには、【**選択した部分以外**】

7.  をクリックします。編集したクリップが [ オーサリング ] ウィンドウに表示されます。

## 結合

複数のクリップを結合して1つのクリップにまとめ、作業の効率を良くすることができます。

複数のクリップを結合するには、次の操作を行います。

1. [編集] タイトルの下にある **【タイトル / アルバム】** をクリックします。
2. **【結合】** タブをクリックします。
3. クリップを選択し、 をクリックして結合リストに追加します。結合するクリップすべてについて、この操作を行います。
  - 結合リストからクリップを削除するには、 ボタンを使用します。
  - 必要に応じて  ボタンや  ボタンを使用し、クリップの順序を入れ替えます。
4.  をクリックして結合を開始します。

結合したクリップが [ オーサリング ] ウィンドウに1つのクリップとして表示されます。

**注：**ビデオクリップを結合する場合に、すべてのビデオクリップはその動画用に選択したアスペクト比に変換されます。


## 分割

長い動画クリップを2つに分割して、編集しやすくできます。

クリップを分割するには、次の操作を行います。

1. [編集] タイトルの下にある **【タイトル / アルバム】** をクリックします。
2. **【分割】** タブをクリックします。



3. 次のいずれかを行って、分割位置（クリップを分割する位置にあるフレームやスライド）を設定します。
  - ビデオクリップ：スライダを使用して分割時間を指定します。
  - アルバム：スライダを使用して分割を開始する位置の直前にあるスライドを指定します。
4.  をクリックして分割を開始します。

分割したクリップが [ オーサリング ] ウィンドウに 2 つのクリップとして表示されます。

## 動画用の高度な編集（オプション）

より高度な動画編集を行うには、**[ アドバンス編集 ]** ボタンをクリックして CyberLink PowerDirector を起動します。

このプログラムの使用方法については、製品に組み込まれているヘルプを参照してください。

**注：**使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。

# フォトスライドショーの作成

[フォトスライドショー]ウィンドウを使用すると、写真を使ったスライドショーアルバムを作成できます。このウィンドウは、[ディスク]ウィンドウに写真をインポートした後か、または[ディスク]ウィンドウの[編集]タイトルの下にある**【フォトスライドショー】**を選択すると、表示されます。アルバムを選択するには、**←**または**→**をクリックします。アルバムのプレビューウィンドウにプレビュースライドが表示され、アルバム内のスライドがストーリーボードに表示されます。

## 新しいアルバムの作成

新しいアルバムを作成するには、[静止画ファイルの読み込み]機能を使用します。詳しくは、21 ページの「静止画ファイルの読み込み」を参照してください。

## アルバムへの写真の追加

[フォトスライドショー]ウィンドウを使用して、作成済みのスライドショーに写真を追加できます。

作成済みのスライドショーのアルバムに写真を追加するには、次の操作を行います。

1. [編集]タイトルの下にある**【フォトスライドショー】**をクリックします。
2. 変更するアルバムを選択します。
3. **【スライドの追加】**をクリックします。[スライドをアルバムに追加]ダイアログボックスが開きます。
4. 追加する写真を開きます。





## アルバムのプロパティの表示

アルバムのプロパティを表示するには、アルバムのウィンドウのプレビュースライドか、[オーサリング]ウィンドウのサムネイルを右クリックし、**【プロパティ】**を選択します。アルバムのプロパティを表示したダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで、アルバム名を変更できます。

## アルバムへのBGMの追加

音声ファイルを追加して、アルバムにBGMをつけることができます。

アルバムにBGMを追加するには、次の操作を行います。

1. [編集]タイトルの下にある**【フォトスライドショー】**をクリックします。
2. 変更するアルバムを選択します。
3.  をクリックします。[BGM]ダイアログボックスが開きます。
4.  をクリックして、音声トラックを開きます。音声ファイルは、ここで編集することも、選択して動画クリップに追加することもできます。必要に応じて、次のオプションを使用します。
  - フェードイン/フェードアウトを行う。
  - 動画クリップが終わるまで音声トラックを繰り返して再生する。
  - トリムバーのスライダを使用して音声ファイルをトリムする。
  - 音量を調節する。
5.  をクリックします。[BGM]ボックスに音声トラックが表示されます。
  - 音声トラックを削除するには、 をクリックします。

## 表示時間の設定

表示時間の設定では、スライドの画像を表示する長さを指定したり、スライドショーアルバム全体の再生時間を指定したりできます。アルバムスライドショーの再生時間を、選択した BGM の長さに合わせることもできます。

- 各スライド（画像）の表示時間を指定するには、**【スライド】**を選択して、表示時間を入力します。
- アルバム全体の表示時間を指定するには、**【アルバム】**を選択して、表示時間を入力します。
- アルバムスライドショーの再生時間を BGM に選択した音声ファイルの長さに自動的に合わせるには、**【BGM】**を選択します。


## 静止画ファイルのバックアップ

ディスクに書き込むスライドショーの静止画ファイルをバックアップするには、**【静止画ファイルの保存】**オプションを選択して、画像をディスクにコピーします。この機能は DVD 画質 (720x480) 以上の画像に使用すると特に便利です。

## タイトルサムネイル画像の設定

スライドショーアルバムにある画像を、ディスクメニューにあるアルバムの表紙にサムネイルとして表示できます。

タイトルサムネイル画像を設定するには、次の操作を行います。

1. **【オーサリング】**ウィンドウで、タイトル画像にする写真をクリックします。
2.  をクリックします。指定した画像がタイトルサムネイルとなります。

## 静止画用の高度な編集（オプション）

より高度な静止画編集を行うには、**【アドバンス編集】** ボタンをクリックして CyberLink PhotoNow を起動します。

このプログラムの使用方法については、製品に組み込まれているヘルプを参照してください。

**注：** 使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。


## 筋書きの整理

[ディスク]ウィンドウの[オーサリング]ウィンドウに表示されるサムネイルの順番は、ムービー作品のビデオクリップの順番に対応しています。クリップは、順番を変えたり、削除したり、プレビューしたりして、好みどおりに整理することができます。

**注：**メニューサムネイルのアスペクト比は、常に 4:3 です。16:9 アスペクト比のクリップはレターボックス形式で表示されます。

## クリップの再生

[オーサリング]ウィンドウでクリップを再生するには、次のいずれかを行います。

- クリップをダブルクリックする。
- クリップを選択して、をクリックする。
- クリップを右クリックして、メニューから**【再生】**を選択する。

## サムネイルの移動

サムネイルを移動するには、次のいずれかを行います。

- クリップを右クリックして、**【前へ移動】**(先頭方向へ)または**【次へ移動】**(末尾方向へ)を選択します。クリップが、指定した方向に1つ移動する。
- クリップをドラッグし、別のクリップ上にドロップする。これにより、2つのクリップの位置が入れ替わります。

## クリップの削除

[オーサリング]ウィンドウで不要なクリップを削除するには、次のいずれかを行います。

- クリップを右クリックして、メニューから【削除】を選択する。
- クリップを選択して、キーボードの **Delete** キーを押す。

# ディスクのメニューページの カスタマイズ

メニューを使用して、完成したディスクをナビゲートします。[メニューの変更]ウィンドウを使用すると、メニューページの外観を自由にカスタマイズできます。たとえば、ボタンや文字、全体的なレイアウトを変更できます。



[メニューの変更]ウィンドウを開くには、[ディスク]ウィンドウの[編集]タイトルの下にある【メニュー】をクリックします。

**注：**背景画像は常に、4:3 アスペクト比になります。16:9 の TV アスペクト比を選択した場合には、背景画像はサイドパネルに表示されます。

## メニューページのテンプレートの選択

メニューページのテンプレートは、背景画像、ボタン、およびフレームの設定を組み合わせたものです。




メニューページの背景テンプレートを指定するには、次の操作を行います。

1. 【テンプレート】をクリックします。
  - 選択しやすくするために表示内容を限定するには、ドロップダウンリストでカテゴリを選択します。【ALL】を選択すると、すべてのオプションが表示されます。
2. 使用するオプションを選択します。
  - この画像をメニューページすべてに適用するには、をクリックする。
3.  クリックして、カスタマイズウィンドウを閉じます。




## 背景画像の追加

背景画像として使用する画像を追加するには、次の操作を行います。

1. **【テンプレート】**をクリックします。
2.  をクリックして、画像を開きます。選択した画像が、ドロップダウンボックスの**【オリジナル】**カテゴリに追加されません。
  - **【オリジナル】**カテゴリから画像を削除するには、対象の画像を選択して、 をクリックします。
3.  をクリックして、カスタマイズウィンドウを閉じます。

## メニューページに表示するボタン数の指定


1つのメニューページに表示するボタン数を指定するには、次の操作を行います。

1. **【表示されるボタン数】**をクリックします。
  - 選択しやすくするために表示内容を限定するには、ドロップダウンリストでカテゴリを選択します。**【ALL】**を選択すると、すべてのオプションが表示されます。
2. 使用するオプションを選択します。
3.  をクリックして、カスタマイズウィンドウを閉じます。

## ボタンフレームのスタイルの選択


ボタンフレームのスタイルを選択するには、次の操作を行います。

1. **【フレーム】**をクリックします。
  - 選択しやすくするために表示内容を限定するには、ドロップダウンリストでカテゴリを選択します。**【ALL】**を選択すると、すべてのオプションが表示されます。
2. 使用するオプションを選択します。

3.  をクリックして、カスタマイズウィンドウを閉じます。


## ボタンの配置の選択

ボタンの配置を選択するには、次の操作を行います。

1. **【ボタンの配置】** をクリックします。
  - 選択しやすくするために表示内容を限定するには、ドロップダウンリストでカテゴリを選択します。**【ALL】** を選択すると、すべてのオプションが表示されます。
2. 使用するオプションを選択します。
3.  をクリックして、カスタマイズウィンドウを閉じます。

## ボタンのスタイルの選択

ボタンのスタイルを選択するには、次の操作を行います。

1. **【ナビゲーションボタン】** をクリックします。
  - 選択しやすくするために表示内容を限定するには、ドロップダウンリストでカテゴリを選択します。**【ALL】** を選択すると、すべてのオプションが表示されます。
2. 使用するオプションを選択します。
3.  をクリックして、カスタマイズウィンドウを閉じます。

## テンプレートのダウンロード


CyberLink のウェブサイトからテンプレートをダウンロードするには、次の操作を行います。

1. **【ほかのテンプレート】** をクリックします。ウェブブラウザのウィンドウが開き、CyberLink のサイバーストアが表示されます。
2. 使用するテンプレートをダウンロードします。

注：この機能を使用するには、インターネットに接続する必要があります。


## お気に入りファイルとしてのテンプレートの保存

[メニューの変更]ウィンドウの設定を変更したら、お気に入り (.fl) ファイルとして保存し、あとで使用できます。

テンプレートをお気に入り (.fl) ファイルとして保存するには、をクリックします。開いたダイアログボックスで、お気に入りファイルを保存します。


## テンプレートとしてのお気に入りファイルの使用

テンプレートをお気に入りファイルとして保存したら、いつでもまたテンプレートとして使用できます。

お気に入り (ファイルをテンプレートとして使用するには、をクリックします。開いたダイアログボックスで、お気に入り (.fl) ファイルを開きます。

## メニューテキストの変更

メニューページに表示するテキストを編集するには、テキストをダブルクリックして、新しいテキストを入力します。




メニューページに表示するテキストのフォントプロパティを変更するには、テキストをクリックして、をクリックします。開いたダイアログボックスでフォントプロパティを変更し、**[OK]**をクリックします。

## BGM の設定

メニューに BGM を追加する手順は、アルバムに BGM を追加する手順と同じです。35 ページの「アルバムへの BGM の追加」を参照してください。

## ファーストプレイ動画クリップの設定

ファーストプレイに指定したクリップは、コンピュータにディスクが挿入されると、メニューページが表示される前に再生されます。ファーストプレイにはナビゲーションボタンを付けることはできず、また早送りすることもできません。プロの作品では、ファーストプレイは一般に著作権情報や警告の表示に使われますが、個人的な作品では、自己紹介や、何か別の動画クリップの表示に使用してかまいません。



クリップをファーストプレイに指定するには、をクリックして対象のファイルを開きます。ファーストプレイに指定したファイルのセットを削除するには、をクリックします。ファーストプレイビデオをプレビューするには、をクリックします。

# チャプタの作成

チャプタを使用すると、ディスクのナビゲーションを簡単に行えます。ディスクにチャプタを作成しておけば、再生時にメニューページからチャプタにジャンプでき、途中にコンテンツをスキップすることができます。チャプタは、作成しなくてもかまいません。チャプタを作成しない場合、ディスクをプレイヤーに挿入すると自動的にムービーが再生されます。

## チャプタの自動作成



チャプタを自動作成するには、次の操作を行います。

1. [ディスク]ウィンドウの[編集]タイトルの下にある【チャプタ】をクリックします。
2. ディスクにチャプタを作成します。
  - ディスクにたくさんのチャプタを作成する場合は、【チャプタを均等に作成する】オプションを選択し、ボックスに数を入力します。
  - で自動的にチャプタを作成するには、【チャプタをシーン検出で作成する】オプションを選択します。シーン検出の精度を上下すると、相対的なチャプタ数を調節することができます。精度が高くなれば、チャプタも増加します。
3. をクリックしてチャプタを作成します。各チャプタが、ストーリーボードにサムネイルとして表示されます。
4. をクリックします。



## チャプタの手動作成


チャプタを手動で作成するには、次の操作を行います。

1. [ディスク]ウィンドウの[編集]タイトルの下にある【チャプタ】をクリックします。

- 再生コントロールを使用してチャプタを作成するポイントを探し、をクリックしてそのポイントにチャプタを作成します。
- をクリックします。

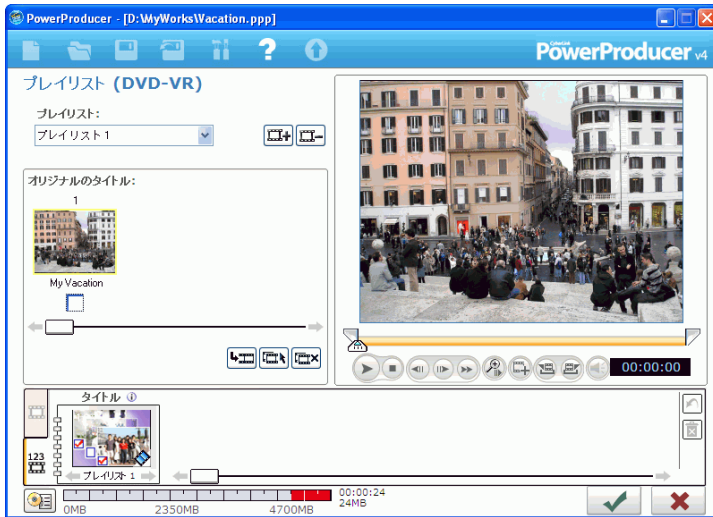
## チャプタの削除

チャプタを削除するには、をクリックします。をクリックすると、削除したチャプタを順番に元に戻すことができます。

ビデオクリップのチャプタからストーリーボードに表示するサムネイルに使う静止画を指定するには、プレビューウィンドウで対象の画像を表示し、をクリックします。



# プレイリストの追加


DVD にプレイリストを追加すると、DVD を見る際に再生するコンテンツを指定することができます。複数のプレイリストを作成すると、ひとつのオリジナルコンテンツをいろいろなバージョンで楽しむことができます。







**注：**プレイリストは、DVD-VR または BDAV ディスクを作成する場合にのみ作ることができます。

プレイリストを作成するには、次の操作を行います。



1. [ディスク] ウィンドウの [編集] タイトルの下にある **[プレイリスト]** をクリックします。
2.  をクリックして、新しいプレイリストを作成します。プレイリストウィンドウにプレビューが表示されます。
  - プレイリストを削除するには、 をクリックします。
  - 再生ボタンや開始位置、終了位置機能を使用すると、プレビューウィンドウで動画の一部をプレビューして選択する

ことができます。をクリックすると、動画の選択した部分をプレイリストに追加します。

- すべてのクリップを選択するには、をクリックします。
  - すべてのクリップの選択を解除するには、をクリックします。
3. をクリックすると、選択したクリップをプレイリストに追加します。
  4. をクリックします。

## プレイリストの選択

プレイリストを作成すると、プレイリストプレビューウィンドウにプレビュー画像が表示されます。表示されないプレイリストを別途作成することもできます。



別のプレイリストを選択するには、またはをクリックします。プレイリストのプレビューウィンドウにプレビュースライドが表示され、プレイリスト内のクリップが [ オーサリング ] ウィンドウに表示されます。



# ディスクコンテンツのプレビュー

クリップの整理が完了し、コンテンツが完成したら、ディスクに書き込む前に作品全体をプレビューすると良いでしょう。また、ディスクのプロパティやディスクのメニューも見ることができます。

## 作品のプレビュー

ビデオ、スライドショー、および追加した設定を含む作品全体をプレビューするには、**[プレビュー]** タブをクリックします。[オーサリング]ウィンドウが[プレビュー]ウィンドウに変わります。メニューやビデオサムネイルの動画をプレビューするには、 をクリックします。また、ディスクのビデオコンテンツのすべてを最初からプレビューするには、 をクリックします。プレビュー画像は、プレビューウィンドウの下にあるボタンを使って、開始したり停止したりできます。

## 動画クリップのプレビュー

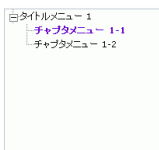
プレビューウィンドウで動画クリップをプレビューするには、クリップのサムネイルをクリックしてから、ウィンドウの下部にある再生ボタンを使用します。

## アルバムのプレビュー

プレビューウィンドウで静止画アルバムをプレビューするには、アルバムのサムネイルをクリックしてから、ウィンドウの下部にある再生ボタンを使用します。

# DVD 構造の表示

ディスクのメニュー構造を表示するには、[ディスク]ウィンドウの【ツリー表示】バーをクリックします。



タイトルを表示するには、[ツリー表示]ウィンドウで対象のタイトルをクリックします。[ツリー表示]ウィンドウを閉じるには、バーをもう一度クリックします。




## クリップのプロパティの表示

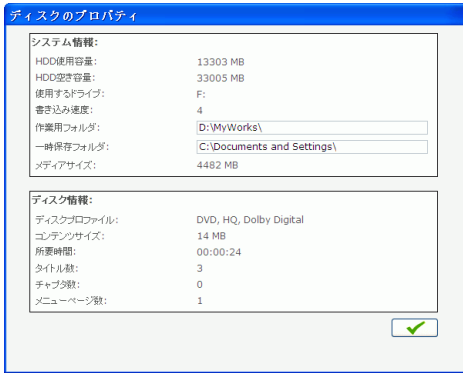
ファイル名や解像度、再生時間などのクリップ関連のプロパティを表示できます。

クリップのプロパティを表示するには、クリップを右クリックして【プロパティ】を選択します。

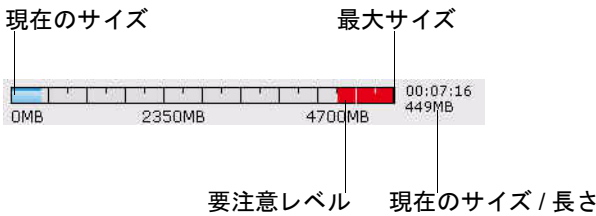
## ディスクのプロパティの表示

CyberLink PowerProducer インターフェイスでをクリックすると、最新のシステムとディスクのプロパティを見ることができます。こ

のボタンはほとんどの CyberLink PowerProducer ウィンドウについて  
います。



このボタンの隣には、作品のファイルサイズや長さが表示されます。



# 書き込みの設定



メディアを取得し、筋書きをまとめてクリップを編集し、音声などの効果を追加して、レイアウトやディスクの概観をカスタマイズしたら、いよいよ作品を完成させましょう。


CyberLink PowerProducer には作品の完成方法がいくつか用意されており、状況によって使い分けることができます。製作の仕上げとして、作品をディスクに書き込んだり、ディスクイメージとして保存したり、ハードディスクに DVD フォルダを作成してメディアファイルを整理したりできます。使用する書き込みドライブやディスクによっては、これらの処理を同時に実行できます。

## 書き込み設定

初回の書き込みをする前に、[書き込みの設定] ウィンドウで書き込み設定を行います。いったん設定すると、CyberLink PowerProducer では、変更しない限りずっとこの設定が使用されます。

書き込みの設定をするには、次の操作を行います。

1.  をクリックします。
2. 書き込みドライブを選択します。
3. 書き込み速度を選択します。
4. **【バッファアンダーランエラー防止の使用】** オプションを選択して、ハードディスクがビジーになったりシステムリソースが不足したりしても、正しく書き込みが行われるようにします。
5.  をクリックして設定を行い、[書き込みの設定] ウィンドウに戻ります。


**注：**書き込みを行う前に  をクリックすると、ディスクを消去できます。詳細は、84 ページの「ディスクの消去」をご覧ください。

## ディスクへの作品の書き込み

ムービー作成の仕上げは、作品をディスクに書き込む作業です。書き込んだ作品は、ディスクプレイヤーで再生して、家族や友人と一緒に楽しむことができます。



作品をディスクに書き込むには、次のようにします。

1. [書き込みの設定] ウィンドウで【ディスクの書き込み】オプションを選択します。
2. 使用する書き込みオプションを選択します。
  - 作成するコピーの数を入力します。
  - ディスクにボリュームラベルを付ける場合、ラベルを入力します。
3.  をクリックします。処理がすぐに始まります。

CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

**注：**書き込み処理には少なくとも数分かかりますが、所要時間はビデオの画質やコンピュータの処理能力によって変化します。CyberLink PowerProducer で作品が表示されるまで、少々お待ちください。

処理が完了するとメッセージが表示され、次に行える操作のオプションが表示されます。





- CyberLink PowerProducer のメインウィンドウに戻るには、**【メインメニューに戻る】** をクリックします。
- プログラムを終了するには、**【PowerProducerの終了】** をクリックします。

## ディスクイメージとしての作品の保存

作品をディスクイメージとしてハードディスクに保存し、あとでディスクに書き込むことができます。このオプションは、コンピュータに書き込みドライブがない場合には、特に便利です。



作品をディスクイメージとして保存するには、次のようにします。

1. **【ディスクイメージの保存】** オプションを選択します。
2.  をクリックし、ディスクイメージを保存するディレクトリを選択して、ファイル名を入力します。
3.  をクリックします。処理がすぐに始まります。

CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

処理が完了するとメッセージが表示され、次に行える操作のオプションが表示されます。



- CyberLink PowerProducer のメインウィンドウに戻るには、**【メインメニューに戻る】** をクリックします。
- プログラムを終了するには、**【PowerProducerの終了】** をクリックします。




## DVD フォルダの作成


DVD フォルダを作成すると、ハードディスクにムービーを作成するためのファイルがすべて保存されるため、すぐに作成に取り掛かることができます。



DVD フォルダを作成するには、次の操作を行います。

1. **[DVD フォルダの作成]** オプションを選択します。
2.  をクリックし、DVD フォルダを保存するディレクトリを選択します。

**注：**DVD フォルダを作成すると、ディレクトリ内のデータがすべて上書きされます。

3.  をクリックします。処理がすぐに始まります。  
CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

処理が完了するとメッセージが表示され、次に行える操作のオプションが表示されます。



- CyberLink PowerProducer のメインウィンドウに戻るには、**【メインメニューに戻る】** をクリックします。
- プログラムを終了するには、**【PowerProducerの終了】** をクリックします。

# 書き込み終了後のディスク編集




作品をさらにすばらしいものにするためのビデオをあとから撮った場合、どうすればいいでしょうか。ディスクを削除して、最初から書き込みなおさなければならないと思いますか。この製品では、そんなことをする必要はありません。作品を書き換え可能なディスク（たとえば




RW/VR や +RW/VR など）に書き込んでおけば、あとからコンテンツを編集しなおすことができます。

書き込み終了後に編集作業を行うには、次のようにします。


1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. **【ディスクの編集】** をクリックします。



3. 編集するディスクメディアを挿入します。
  -  をクリックして、ドライブの表示を更新します。

-  をクリックして、ドライブ ドアを開けます。
4. 書き込み速度を選択します。
  5. ディスクのアスペクト比を選択し、 をクリックします。
  6. CyberLink PowerProducer で必要な編集を行い、 をクリックします。



7.  をクリックします。52 ページの「書き込みの設定」を参照してください。

### 第 3 章：

# Right-to-Disc

ビデオコンテンツを DV カメラ、HDV カメラ、TV、ウェブカメラ、ビデオデッキから直接 DVD やブルーレイディスクに書き込むことができます。途中でハードディスクにいったん保存する必要はありません。これにより、ビデオをディスクに書き込むための時間を大幅に節約できます。

最も簡単な方法は、ビデオコンテンツを直接 DVD やブルーレイディスクに書き込み、ムービーを DVD プレイヤーやブルーレイディスクプレイヤーで再生したり、将来また別のプロジェクトで使うために保存したりできるようにすることです。

この章には、次の節があります。

- 63 ページの「DV カメラからの DVD やブルーレイディスクへの動画書き込み」
- 66 ページの「HDV カメラからのブルーレイディスクへの動画書き込み」
- 69 ページの「TV からの DVD やブルーレイディスクへの動画書き込み」
- 73 ページの「PC カメラからの DVD やブルーレイディスクへの動画書き込み」
- 76 ページの「ビデオデッキからの DVD やブルーレイディスクへの動画書き込み」

注：使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。

**注：**一部のビデオカメラは、PC上で外部ドライブとして認識されません。その場合は、**Right-to-Disc**機能は使用できません。ファイルを選んで、それをディスクの編集に読み込む必要があります。

# DV カメラからの DVD やブルーレイディスクへの動画書き込み


DV カメラは、デジタル形式で記録を行うためコンピュータで使用するための変換処理を必要とせず、またいろいろな録画オプションが用意されていることもあります。このため、ビデオ愛好家に良く使われています。

**注：**この機能を使用するには、DVD またはブルーレイディスクの書き込みドライブが必要です。

ビデオをカメラから DVD やブルーレイディスクに書き込むには、次のようにします。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. **[Right-to-Disc]** をクリックします。



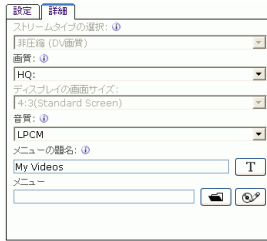
3. 使用するディスクを挿入し、正しいドライブが選択されていることを確認します。
4. **【最大速度】** ドロップダウンリストで書き込み速度を選択し、 をクリックします。




5. **【キャプチャデバイス】** ドロップダウンリストで **【DV】** を選択します。  
**注：** DVカメラが VCR モードになっていることを確認してください。
6. **【DVテープの時間】** ドロップダウンリストで、使用する DVテープの長さを選択します。
7. ディスクを再生する地域を選択して、TV の形式 (NTSC か PAL) を設定します。また、ここでその他の設定も行えます。
  - 特定時間の動画を録画するには、開始時間と終了時間も入力します。手順は、クリップのカットとほぼ同じです。詳しくは、31 ページの「カット」を参照してください。
  - ディスクにボリュームラベルを付ける場合、ラベルを入力します。この名前は、ディスクをコンピュータで再生する際に表示されます。



- ディスクに【ディスクの名前】を付ける場合、名前を入力します。この名前は、ディスクをディスクプレイヤーで再生する際に表示されます。
- ディスクとビデオの設定を表示するには、[詳細]タブをクリックします。



8.  をクリックして書き込みを開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されません。

**注：**書き込み処理には少なくとも数分かかりますが、所要時間はビデオの長さやコンピュータの処理能力によって変化します。

書き込んだビデオは、プレビューウィンドウのボタンを使用してプレビューできます。

# HDV カメラからのブルーレイディスクへの動画書き込み

HDV カメラも、デジタル形式で記録を行うためコンピュータで使用するための変換処理を必要とせず、またいろいろな録画オプションが用意されていることもあります。このため、ビデオ愛好家に良く使われています。


**注：**この機能を使用するには、ブルーレイディスクの書き込みドライブが必要です。

ビデオを HDV カメラからブルーレイディスクに書き込むには、次のようにします。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. **[Right-to-Disc]** をクリックします。



3. 使用するディスクを挿入し、正しいドライブが選択されていることを確認します。


4. **【最大速度】** ドロップダウンリストで書き込み速度を選択し、 をクリックします。



5. **【キャプチャデバイス】** ドロップダウンリストで **【HDV】** を選択します。
- 注：カメラが VCR モードになっていることを確認してください。
6. **【HDV テープの時間】** ドロップダウンリストで、使用する HDV テープの長さを選択します。
7. ディスクを再生する地域を選択して、TV の形式（NTSC か PAL）を設定します。また、ここでその他の設定も行えます。
- 特定時間の動画を録画するには、開始時間と終了時間も入力します。手順は、クリップのカットとほぼ同じです。詳しくは、31 ページの「カット」を参照してください。
  - ディスクにボリュームラベルを付ける場合、ラベルを入力します。この名前は、ディスクをコンピュータで再生する際に表示されます。

- ディスクに【ディスクの名前】を付ける場合、名前を入力します。この名前は、ディスクをディスクプレイヤーで再生する際に表示されます。
- ディスクとビデオの設定を表示するには、[詳細]タブをクリックします。



8.  をクリックして書き込みを開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されません。

**注：**書き込み処理には少なくとも数分かかりますが、所要時間はビデオの長さやコンピュータの処理能力によって変化します。

ブルーレイディスクに書き込んだビデオは、プレビューウィンドウのボタンを使用してプレビューできます。

**注：**HD 形式は、大容量 HD DVD ディスクが発売され次第、こちらでもサポートされます。

# TVからのDVDやブルーレイディスクへの動画書き込み

作品に取り込むなど、いろいろな目的で使用するために、お気に入りのTV番組を保存したい場合があります。


TV番組をDVDやブルーレイディスクに書き込むには、次のようにします。

**注：**この機能を使用するには、DVDまたはブルーレイディスクの書き込みドライブが必要です。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. **[Right-to-Disc]** をクリックします。



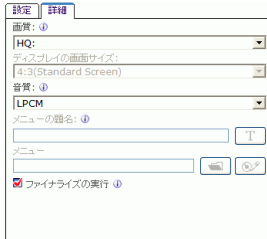
3. 使用するディスクを挿入し、正しいドライブが選択されていることを確認します。


4. **【最大速度】** ドロップダウンリストで書き込み速度を選択し、 をクリックします。




5. **【キャプチャデバイス】** ドロップダウンリストで **【TV チューナ】** を選択します。
6. 録画するチャンネルを選択します。
7. ディスクを再生する地域を選択して、TV の形式（NTSC か PAL）を設定します。また、ここでその他の設定も行えます。
- 特定時間の動画を書き込むには、**【録画時間の設定】** オプションを選択し、時間を入力します。
  - ディスクに **【ボリュームラベル】** を付ける場合、ラベルを入力します。この名前は、ディスクをコンピュータで再生する際に表示されます。
  - ディスクに **【ディスクの名前】** を付ける場合、名前を入力します。この名前は、ディスクをディスクプレーヤーで再生する際に表示されます。

- ディスクとビデオの設定を表示するには、[ 詳細 ] タブをクリックします。



- TV の設定ウィンドウを開くには、 をクリックします。



- **【ビデオデバイス】** ドロップダウンリストで使用する TV を選択します。
  - **【オーディオデバイス】** ドロップダウンリストで使用する オーディオデバイスを選択します。
  - **【音声ソース】** ドロップダウンリストで使用する音声ソースを選択します。
  - **映像ソース** :TV をアンテナから受信している場合は **【アンテナ】** を、ケーブルテレビの場合は **【ケーブル】** を選択します。
  - 録画するチャンネルを選択します。
8.  をクリックして書き込みを開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されません。

**注：**書き込み処理には少なくとも数分かかりますが、所要時間はビデオの長さやコンピュータの処理能力によって変化します。

書き込んだビデオは、プレビューウィンドウのボタンを使用してプレビューできます。



# PC カメラからの DVD やブルーレイディスクへの動画書き込み

PC カメラ（ウェブカメラとも言います）は安価で手軽なビデオカメラで、簡単な動画にキャプチャに使用できます。


**注：**この機能を使用するには、DVD またはブルーレイディスクの書き込みドライブが必要です。

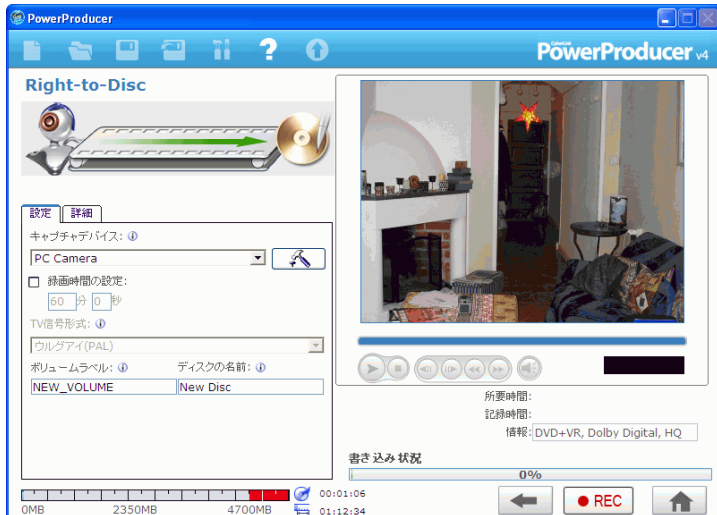
PC カメラから DVD に書き込むには、次のようにします。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. **[Right-to-Disc]** をクリックします。



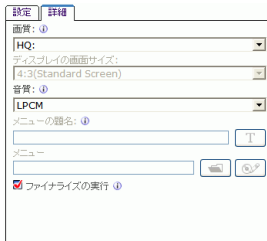
3. 使用するディスクを挿入し、正しいドライブが選択されていることを確認します。


4. **【最大速度】** ドロップダウンリストで書き込み速度を選択し、 をクリックします。

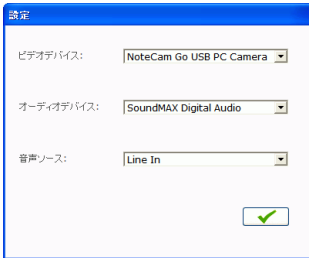



5. **【キャプチャデバイス】** ドロップダウンリストで **【PCカメラ】** を選択します。
6. ディスクを再生する地域を選択して、TVの形式（NTSCかPAL）を設定し、画質も選択します。また、ここでその他の設定も行えます。
- 特定の時間の動画を書き込むには、**【録画時間の設定】** オプションを選択し、時間を入力します。
  - ディスクに **【ボリュームラベル】** を付ける場合、ラベルを入力します。この名前は、ディスクをコンピュータで再生する際に表示されます。
  - ディスクに **【ディスクの名前】** を付ける場合、名前を入力します。この名前は、ディスクをディスクプレイヤーで再生する際に表示されます。

- ディスクとビデオの設定を表示するには、[ 詳細 ] タブをクリックします。



- PC カメラの設定ウィンドウを開くには、 をクリックします。



- **【ビデオデバイス】** ドロップダウンリストで使用する PC カメラを選択します。
  - **【オーディオデバイス】** ドロップダウンリストで使用するオーディオデバイスを選択します。
  - **【音声ソース】** ドロップダウンリストで使用する音声ソースを選択します。
7.  をクリックして書き込みを開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されません。

**注：**書き込み処理には少なくとも数分かかりますが、所要時間はビデオの長さやコンピュータの処理能力によって変化します。

書き込んだビデオは、プレビューウィンドウのボタンを使用してプレビューできます。

# ビデオデッキからの DVD やブルーレイディスクへの動画書き込み


VHS テープに保存したビデオをビデオデッキから直接 DVD やブルーレイディスクに書き込むことができます。DVD をあとから編集してムービー作品に使うこともできますし、ディスクに保存しておくほうが何かと便利かもしれません。

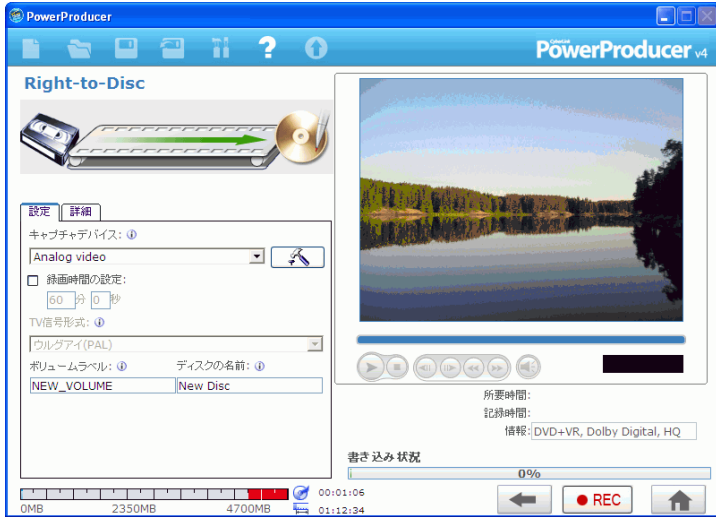
**注：**この機能を使用するには、DVD またはブルーレイディスクの書き込みドライブが必要です。

ビデオをビデオデッキから DVD やブルーレイディスクに書き込むには、次のようにします。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. **[Right-to-Disc]** をクリックします。

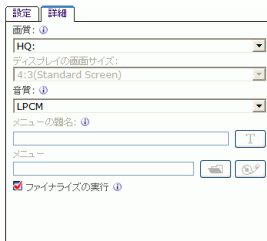



- 使用するディスクを挿入し、正しいドライブが選択されていることを確認します。
- 【最大速度】** ドロップダウンリストで書き込み速度を選択し、 をクリックします。




- 【キャプチャデバイス】** ドロップダウンリストで**【ビデオ入力】**を選択します。
- ディスクを再生する地域を選択して、TVの形式（NTSCかPAL）を設定し、画質も選択します。また、ここでその他の設定も行えます。
  - 特定の時間の動画を書き込むには、**【録画時間の設定】** オプションを選択し、時間を入力します。
  - ディスクに**【ボリュームラベル】**を付ける場合、ラベルを入力します。この名前は、ディスクをコンピュータで再生する際に表示されます。
  - ディスクに**【ディスクの名前】**を付ける場合、名前を入力します。この名前は、ディスクをディスクプレイヤーで再生する際に表示されます。

- ディスクとビデオの設定を表示するには、[ 詳細 ] タブをクリックします。



- ビデオデッキの設定ウィンドウを開くには、 をクリックします。



- **【ビデオデバイス】** ドロップダウンリストで使用するビデオデッキを選択します。
  - **【オーディオデバイス】** ドロップダウンリストで使用するオーディオデバイスを選択します。
  - **【音声ソース】** ドロップダウンリストで使用する音声ソースを選択します。
  - ビデオデッキで使用するビデオの種類を指定するには、**【映像ソース】** オプションで **【Composite】** または **【S-Video】** を選択します。
7.  をクリックして書き込みを開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されません。

**注 :** 書き込み処理には少なくとも数分かかりますが、所要時間はビデオの長さやコンピュータの処理能力によって変化します。

書き込んだビデオは、プレビューウィンドウのボタンを使用してプレビューできます。





## 第 4 章 :

# ディスクユーティリティ

製作、編集、書き込みのほかに、CyberLink Power Producer ではディスクやディスクイメージ、DVD フォルダを管理するためのいろいろなユーティリティを提供しています。

この章には、次の節があります。

- 82 ページの「PowerProducer のディスクユーティリティ」
- 84 ページの「ディスクの消去」
- 86 ページの「ディスクのコピー」
- 88 ページの「ディスクイメージからの書き込み」
- 89 ページの「ディスクイメージの保存」
- 90 ページの「DVD フォルダからの書き込み」

**注 :** 使用できる機能は、インストールしているバージョンによって変わる場合があります。

# PowerProducer のディスクユーティリティ



CyberLink PowerProducer では、ディスクのコンテンツや形式、ディスクイメージファイル、および DVD フォルダを管理するためのいろいろなユーティリティを提供しています。ディスクの書き込み準備や、編集や書き込みを行うためのメディアファイルの整理に、これらのユーティリティが役立ちます。

CyberLink PowerProducer のディスクユーティリティを開くには、次のように行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動して【ディスクユーティリティ】をクリックします。



2. 使用するユーティリティを選択します。

- **ディスクの消去**: ディスクのコンテンツをすべて消去するには、このアイコンをクリックします。詳細は、84 ページの「ディスクの消去」を参照してください。
- **ディスクコピー**: ディスクのコピーを作成するには、このアイコンをクリックします。詳細は、86 ページの「ディスクのコピー」を参照してください。
- **ディスクイメージからの書き込み**: ディスクイメージからディスクに書き込むには、このアイコンをクリックします。詳しくは、88 ページの「ディスクイメージからの書き込み」を参照してください。
- **ディスクからのイメージ作成**: ディスクイメージを保存したあとでディスクに書き込むには、このアイコンをクリックします。詳しくは、89 ページの「ディスクイメージの保存」を参照してください。
- **DVD フォルダからの書き込み**: フォルダのコンテンツをディスクに書き込むには、このアイコンをクリックします。詳細は、90 ページの「DVD フォルダからの書き込み」を参照してください。

# ディスクの消去






書き換え可能なディスクを使用している場合、以前書き込んだコンテンツを消去できます。これにより、1枚のディスクを何度も使用でき、ディスクを買わなくても済みます。多くのメーカーが、現在の -RW/+RW ディスクはおよそ 1,000 回の書き込みが可能であるとしています。DVD-RAM であれば、100,000 回の書き込みが可能です。

ディスクを消去するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. **【ディスクユーティリティ】** をクリックします。
3. **【ディスクの消去】** をクリックします。



4. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
  -  をクリックして、ドライブの表示を更新します。
  -  をクリックして、ドライブ・ドアを開けます。
5. 消去方法を選択します。
  - **【高速】** オプションでは、ディスクのインデックスを消去します。
  - **【完全】** オプションでは、ディスクのコンテンツすべてを消去します。

6.  をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer  
では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

# ディスクのコピー





CyberLink PowerProducer では、ディスク形式を問わず、コピーを作成できます。ただし、コピー元とコピー先のディスクは同じ形式でなくてはなりません。たとえば、CD を DVD にコピーすることはできません。


ディスクをコピーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. 【ディスクユーティリティ】をクリックします。
3. 【ディスクコピー】をクリックします。



4. ソースディスクをドライブに挿入します。
  -  をクリックして、ドライブの表示を更新します。
  -  をクリックして、ドライブ・ドアを開けます。
5. ターゲットディスクを書き込みドライブに挿入します。

**注：**ディスクのコピーを同一ドライブで行う場合、まずディスクイメージディレクトリを作成する必要があります。これにより、コピー処理中にディスクのコンテンツをハードディスクにコピーできます。

6. 使用する書き込みオプションを選択します。
  - 書き込み速度を選択します。
  - 作成するコピーの数を入力します。
  - コピー中のエラーを防止するため、**【バッファアンダーランエラー防止の使用】**オプションを選択しておいてください。
  - **【オンザフライ書き込み】**オプションでは、直接ディスクに書き込みます。ハードディスクへの保存は行いません。ディスクドライブが2台ある場合、このオプションを使用してください。
  - コピーに使用するドライブが1台しかない場合、**【作成するディスクイメージ】**オプションを選択してください。
7.  をクリックして開始します。CyberLink PowerProducerでは、処理状況がリアルタイムで表示されます。

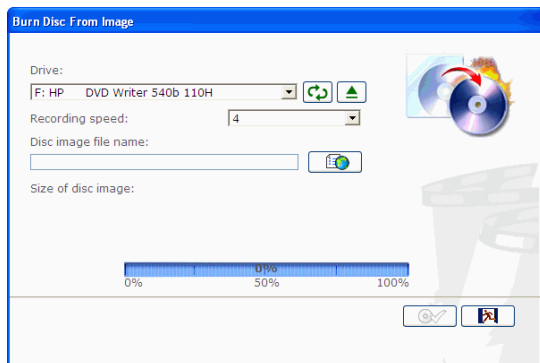
# ディスクイメージからの書き込み







ディスクイメージは、ムービーコンテンツのすべてと設定で構成されており、圧縮して .RDF 形式でディスクに保存し、あとで使用できます。ディスクイメージは、ディスクに書き込むためのファイル構造で保存されます。

ディスクイメージを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. **【ディスクユーティリティ】** をクリックします。
3. **【ディスクイメージからの書き込み】** をクリックします。



4. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
  -  をクリックして、ドライブの表示を更新します。
  -  をクリックして、ドライブ・ドアを開けます。
5.  をクリックし、ディスクイメージファイルを開きます。
6.  をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。



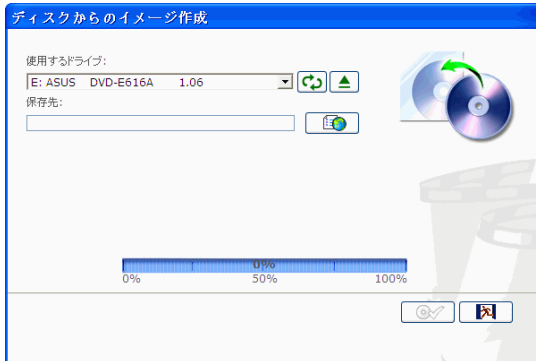
# ディスクイメージの保存







ディスクイメージをディスクに書き込んだ後、そのイメージファイルをハードディスクに保存できます。この機能は、ディスクのバックアップをハードディスクに保存しておき、あとで書き込みを行うのに便利です。たとえば、コンピュータに書き込みドライブがない場合なども、この機能を使用すると良いでしょう。

ディスクイメージを保存するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. **【ディスクユーティリティ】**をクリックします。
3. **【ディスクからのイメージ作成】**をクリックします。



4. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
  -  をクリックして、ドライブの表示を更新します。
  -  をクリックして、ドライブ・ドアを開けます。
5.  をクリックし、ディスクイメージを保存するディレクトリを選択して、ファイル名を入力します。
6.  をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

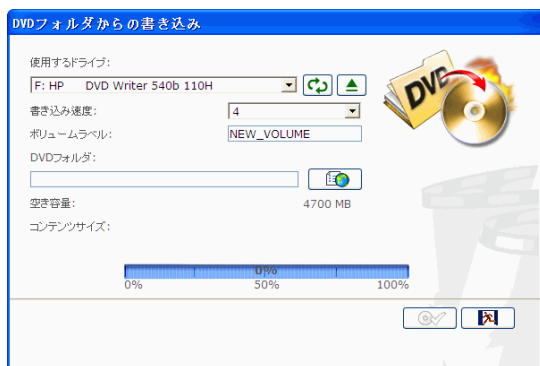
# DVD フォルダからの書き込み







作品のメディアファイルすべてを保存した DVD フォルダを作成してある場合、このフォルダをディスクに書き込んで保存できます。DVD フォルダの書き込みはディスクイメージの書き込みに似ていますが、圧縮しないため、互換性の問題が起こりません。

DVD フォルダを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerProducer を起動します。
2. **【ディスクユーティリティ】** をクリックします。
3. **【DVD フォルダからの書き込み】** をクリックします。



4. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
  -  をクリックして、ドライブの表示を更新します。
  -  をクリックして、ドライブ・ドアを開けます。
5.  をクリックし、書き込むフォルダを選択します。
6.  をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

## 第 5 章：

# 参考資料

この章には、デジタルムービー作成操作や CyberLink PowerProducer の使用方法に関する疑問を解決するための情報が記載されています。

この章には、次の節があります。

- 92 ページの「よくある質問と回答」
- 94 ページの「ディスクのタイプとビデオレコーディング形式」
- 100 ページの「形式と画質」

# よくある質問と回答

CyberLink PowerProducer に関するよくある質問と回答は次のとおりです。さらに詳細な情報が必要な場合は、103 ページの「テクニカルサポート」を参照してください。

## 1. CyberLink PowerProducer 4 の新機能は何ですか。

### オーサリング機能：

- **ブルーレイディスクオーサリング**：ブルーレイディスクプレイヤーで再生する高品質のハイビジョンビデオを作成します。
- **HD DVD オーサリング**：HD DVD プレイヤーで再生する高品質のハイビジョンビデオを作成します。
- **16:9 ワイドスクリーンオーサリング**：ハイエンドのディスプレイ装置に完全に合うワイドスクリーンムービーを作成します。また、CyberLink PowerProducer では 4:3 および 16:9 のプレビューモードを提供し、ムービーがテレビで表示される方法をシミュレートします。

### キャプチャ機能：

- **HDV カメラからのキャプチャ**：HDV カメラから 1080i または 720p のハイビジョンビデオをキャプチャします。HDV 装置から空のディスクに直接記録するオプションもあります。

### メニュー：

- **16:9 ワイドスクリーンディスクメニュー**：ワイドスクリーンテレビやモニタをフル活用したメニューを作成します。
- **TV で再生可能な範囲**テキスト、サムネイル、ボタンなどのメニューアイテムがほとんどの TV で表示できるものであるかどうか、ディスクメニューの作成時に確認できます。

### 書き込み機能：

- **ブルーレイディスクのサポート**：ハイビジョン、ワイドスクリーンコンテンツを 25GB 単層 BD-RE ディスクに書き込みます。また、多様なソースからブルーレイディスクにビデオを直接書き込みます。
- **HD DVD のサポート**：ハイビジョン、ワイドスクリーンコンテンツを 15GB 単層 HD DVD-R ディスクに書き込みます。

## 2. ブルーレイディスクについて

ブルーレイディスク (BD) は、ハイビジョンビデオ (HD) の書き込みや再生を可能にし、データを保存するために開発された光ディスクです。BD は、CD や DVD とは異なる技術を使用して書き込まれますが、適切なハードウェアでは互換性があります。BD には単層式 (2 時間のハイビジョン /25GB のデータ) と二層式 (4 時間のハイビジョン /50GB のデータ) があります。CyberLink PowerProducer では、書き換え可能な単層ブルーレイディスクへの書き込みをサポートしています。

## 3. HD DVD ディスクについて

HD DVD(High Density Digital Versatile Disc または High Definition Digital Video Disc の略) は、ハイビジョンビデオやその他のデータを保存できる、デジタル光学メディアです。HD DVD は競合するブルーレイディスクに類似したもので、同じように CD サイズ (直径 120 ミリ) の光学データ保存メディアと、波長 405nm の青色レーザーを使用します。

# ディスクのタイプとビデオレコーディング形式

この節では、CyberLink PowerProducer で使用できるいろいろなディスクのタイプと形式を説明します。

## ディスクのタイプ

広義には、ディスクは次のように分類できます。

- CD( 初期の技術で、広くサポートされている )
- DVD( より多くのコンテンツを保存できるが、対応するドライブが必要である )
- ブルーレイディスク (ハイビジョンビデオ (HD) の再生が可能な新しい技術である)
- HD DVD (ハイビジョンビデオ (HD) の再生が可能な新しい技術である)

次に、CyberLink PowerProducer でサポートしているディスクのタイプについて簡単に説明します。

## マルチセッションディスク

マルチセッションディスクでは、最初に書き込んだデータにあとからデータを追加できます。CyberLink PowerProducer では、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD+R、BD-RE、BD-R、HD DVD-R 使用する際、ディスクをクローズまたはファイナライズしない場合に、マルチセッションディスクを作成します。これにより、ディスクがいっぱいになるか、クローズするまで、データを追加することができます。

## CD のタイプ

CD には、最大 74/80 分の高画質ビデオまたは 650/700 MB のデータが入ります。

種類	説明
<b>CD-R</b>	CD-R は 1 回限りの書き込みに対応した CD 形式です。CD-RW 用やほとんどの最新型 DVD 書き込みドライブは、CD-R も扱えます。また、ほとんどの DVD プレイヤーで読み取ることができます。
<b>CD-RW</b>	CD-RW は削除可能な CD 形式です。CD-RW 用やほとんどの最新型 DVD 書き込みドライブは、CD-RW も扱えます。また、ほとんどの DVD プレイヤーで読み取ることができます。

## DVD のタイプ

DVD は 4.7 GB ~ 17 GB のデータまたは約 2 ~ 8 時間（DVD のタイプとビデオの画質設定による）のビデオを保存できる大容量ディスクです。高画質設定の場合、約 1 ~ 2 時間のビデオを保存できます。

DVD は、DVD プレイヤーや DVD ドライブが装備されたコンピュータで再生できます。DVD-R/RW 形式の詳細に関しては、<http://www.dvdforum.gr.jp/> などの Web サイトを参照してください。DVD+R/RW 形式の詳細に関しては、[http://www.dvdforum.gr.jp](http://www.dvdforum.gr.jp/) などの Web サイトを参照してください。

種類	説明
<b>DVD-R</b>	1 回限りの書き込みに対応した DVD-R は DVD+R の競合製品で、DVD+R との互換性はありません。一部の新しい DVD 書き込みドライブは DVD-R も DVD+R も扱えます。また、ほとんどの DVD プレイヤーは DVD-R も DVD+R も読み取ることができます。

種類	説明
<b>DVD-RW</b>	削除可能な DVD-RW は DVD+RW の競合製品で、DVD+RW との互換性はありません。一部の新しい DVD 書き込みドライブは DVD-RW も DVD+RW も扱えます。また、ほとんどの DVD プレイヤーは DVD-RW も DVD+RW も読み取ることができます。
<b>DVD+R</b>	1 回限りの書き込みに対応した DVD+R は DVD-R の競合製品で、DVD-R との互換性はありません。一部の新しい DVD 書き込みドライブは DVD-R も DVD+R も扱えます。また、ほとんどの DVD プレイヤーは DVD-R も DVD+R も読み取ることができます。
<b>DVD+RW</b>	削除可能な DVD+RW は DVD-RW の競合製品で、DVD-RW との互換性はありません。一部の新しい DVD 書き込みドライブは DVD-RW も DVD+RW も扱えます。また、ほとんどの DVD プレイヤーは DVD-RW も DVD+RW も読み取ることができます。
<b>DVD-RAM</b>	DVD-RAM は削除可能な DVD 形式で、100,000 回の消去が可能です。DVD-RAM には進歩した技術が採用されているため、ほとんどの DVD 書き込み・再生機器に互換性はありません。
<b>DVD-R DL</b>	DVD-R DL ディスクは、デュアルレイヤの書き込み可能な DVD-R フォーマットです。DVD-R DL ディスク (あるいは DVD-R9 DL ディスク) は約 8.5 GB のデータ容量を書き込むことができます。
<b>DVD+R DL</b>	DVD+R DL ディスクは、デュアルレイヤの書き込み可能な DVD+R フォーマットです。DVD+R DL ディスク (あるいは DVD+R9 DL ディスク) は約 8.5 GB のデータ容量を書き込むことができます。



## ブルーレイディスク :

ブルーレイディスク (BD) は、ハイビジョンビデオ (HD) の書き込みや再生を可能にし、データを保存するために開発された光ディスクです。BD は、CD や DVD とは異なる技術を使用して書き込まれますが、適切なハードウェアでは互換性があります。BD には単層式 (2 時間のハイビジョン /25GB のデータ) と二層式 (4 時間のハイビジョン /50GB のデータ) があります。CyberLink PowerProducer では、書き換え可能な単層ブルーレイディスクへの書き込みをサポートしています。

## HD DVD ディスク

HD DVD(High Density Digital Versatile Disc または High Definition Digital Video Disc の略) は、ハイビジョンビデオやその他のデータを保存できる、デジタル光学メディアです。HD DVD は競合するブルーレイディスクに類似したもので、同じようにに CD サイズ (直径 120 ミリ) の光学データ保存メディアと、波長 405nm の青色レーザーを使用します。

## ビデオレコーディング形式

次に、CyberLink PowerProducer の書き込み処理でサポートされているビデオレコーディング形式について説明します。

形式	説明
<b>DVD-Video</b>	DVD-Video は最も広く使用されている DVD ムービーの形式であり、ほとんどすべての DVD プレイヤーで再生可能です。
<b>DVD-RV</b>	DVD-RW や DVD-RAM ディスクでのビデオ形式です。DVD-RV は、RW に対応した DVD プレイヤーで再生することができます。

形式	説明
<b>DVD+VR</b>	DVD+R/RW や DVD-R/RW ディスクでのビデオ形式です。DVD+VR は、DVD-Video に対応したプレイヤーで再生することができます。
<b>SVCD</b>	SVCD(Super Video Compact Disc) は、MPEG 圧縮を使用した CD ビデオ形式です。SVCD は VCD よりも高いビデオ画質を実現します。およそ 35 分のビデオを録画でき、DVD と同じように BGM 付きのスライドショー、メニューやチャプタを保存できます。SVCD は、DVD 再生ソフトウェアを使用して PC で再生できます。また一部の DVD プレイヤーで再生することもできます。
<b>VCD</b>	VCD(Video Compact Disc) は、MPEG 圧縮を使用した CD ビデオ形式です。VCD には VHS と同程度の品質の音声やビデオを保存でき、DVD と同じようにメニューやチャプタを保存できます。VCD は、VCD/MPEG 再生ソフトウェアを使用して PC で再生できます。またほとんどの DVD プレイヤーで再生することもできます。
<b>BDAV</b>	BDAV はブルーレイディスクのビデオレコーディング形式です。BDAV は、主にビデオのレコーディングだけを行うために用意された簡易化されたレコーディング形式で、DVD ディスクにあるような高度なインタフェース機能は供給しません。
<b>HD DVD Video</b>	HD DVD Video は HD DVD ディスクのビデオレコーディング形式です。

## ディスクのタイプと形式の互換性

一部の商用 CD プレイヤーでは CD-RW を再生できないため、音楽 CD の作成には CD-R/CD+R ディスクを使用してください。

DVD-VR 形式のビデオには、RW または DVD-RAM ディスクを使用してください。DVD-VR は、RW に対応した DVD プレイヤーで再生することができます。

DVD+VR 形式のビデオには、DVD+R/RW または DVD-R/RW ディスクを使用してください。DVD+VR は、DVD-Video に対応したプレイヤーで再生することができます。

# 形式と画質

ビデオをディスクに書き込む際は、画質のみでなく、そのディスクを再生する地域の TV 信号形式を考慮する必要があります。次に、再生時の状況に応じたビデオの書き込みを行うための情報を記載します。

## ビデオ形式

世界には、テレビ放送の標準として採用されている 2 種類のビデオ形式 (NTSC と PAL) があります。この 2 つの主要な違いは、秒あたりのフレーム数です。NTSC では 30、PAL では 25 となっています。つまり、NTSC 形式で記録したムービーは、PAL のプレイヤーでは再生できません。その逆もまた、同様です。

ディスクを NTSC 形式で記録するか PAL 形式で記録するかは、次の要素によって決めることができます。

- **ディスクを再生する国や地域**

どの国でも、NTSC か PAL のいずれかの形式を採用しているため、ディスクをどの場所で再生するかによって、どちらの形式を使うかが決まります。CyberLink PowerProducer で対象の国や地域を選択すると、対応したテレビ信号形式が自動的に設定されます。

**注：**一般に、アメリカ、日本、カナダ、メキシコでは NTSC が使用され、ドイツ、英国、南米、オーストラリア、ほとんどの西欧およびアジア諸国では PAL が使用されています。

## 画質

CyberLink PowerProducer では、HQ、SP、LP、EP などさまざまな画質設定が用意されており、ムービーファイルの画質やファイルの大きさがこの設定によって決まります。高画質のビデオにはより多くのコンピュータリソースが必要となり、ディスクに記録できる長さ

も制限されます。次に、DVDに記録できるビデオの長さを画質別に示します。

- **HQ (高画質)**:60分
- **SP(標準)**:120分
- **LP(長時間)**:180分
- **EP**:240分

より良い画像をお楽しみいただくため、作品が使用するディスクにおさまる範囲で最も高い画質を選択してください。最適な画質は、期待する作品の画質とコンピュータの処理能力で決めるほうが好ましいといえます。次の表に、いろいろなディスクタイプに使用できる画質を示します。

画質	DVD-Video	+VR	-VR
HQ	○	○	○
SP	○	○	○
LP	○	--	○
EP	○	--	○

## 音声形式

次の表に、いろいろなビデオ形式に使用できる音声形式を示します。

画質	NTSC	PAL
MPEG	--	○
LPCM	○	○
AC-3	○	○



## 第 6 章：

# テクニカルサポート

この章には、テクニカルサポートの情報を記載されています。ユーザーが回答を見つけるために役立つすべての情報が含まれています。現地の販売店 / ディーラーにお問い合わせによっても、素早く回答が得られます。

この章には、以下のセクションがあります。

- テクニカルサポートにお問い合わせになる前に ページの「104」
- Web サポート ページの「105」
- 電話サポート ページの「105」
- 電子メールサポート ページの「106」

# テクニカルサポートにお問い合わせになる前に

次のいずれかにより、CyberLink の無料テクニカルサポートをご活用ください。

- プログラムと共にインストールされたユーザーガイドまたはオンラインヘルプで調べる。
- CyberLink Web サイトのサポートセクションで FAQ (よく受ける質問) を参照する。

[http://www.cyberlink.com/multi/support/product\\_faq\\_home.jsp](http://www.cyberlink.com/multi/support/product_faq_home.jsp)

FAQ にはユーザーガイドやオンラインヘルプよりも新しい情報やヒントが含まれている可能性があります。

テクニカルサポートに電子メールや電話でお問い合わせの場合は、次の情報をご用意ください。

- 登録した **CD キー** (CD ケースに記載)
- 製品名、バージョンとビルド番号。これらは通常、ユーザーインターフェイスの製品名をクリックすると表示されます。
- コンピュータにインストールしている Windows のバージョン。
- システムのハードウェア デバイス (キャプチャカード、サウンドカード、VGA カード) およびその仕様。
- 表示された警告メッセージの内容 (書き留めるか、スクリーンショットをとります)。
- 問題が発生した状況とその問題の詳細な説明。



## Web サポート

問題に対する解決策は、次により CyberLink の Web サイトで 1 日 24 時間、無料で入手できます。

**注：** CyberLink Web サポートをご使用になるには、初めにメンバーとして登録する必要があります。

CyberLink は、次の言語による FAQ やユーザーコミュニティーフォーラムなど豊富な Web サポートオプションを提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	<a href="http://support.gocyberlink.com">http://support.gocyberlink.com</a>
繁体字中国語	<a href="http://tw.cyberlink.com/chinese/cs/support/index.jsp">http://tw.cyberlink.com/chinese/cs/support/index.jsp</a>
簡体字中国語	<a href="http://cn.cyberlink.com/chinese/cs/support/index.jsp">http://cn.cyberlink.com/chinese/cs/support/index.jsp</a>
日本語	<a href="http://jp.cyberlink.com/english/cs/support/new_site/support_index_jpn.jsp">http://jp.cyberlink.com/english/cs/support/new_site/support_index_jpn.jsp</a>

**注：** ドイツ語のコミュニティーフォーラムとその他いくつかの制限された Web サポート機能もご利用いただけます。

## 電話サポート

エンドユーザーに最高の解決策を提供する有料サービスの一環として次の言語での音声サポートをご利用になれます。

言語	音声サポート URL
中国語	<a href="http://tw.cyberlink.com/chinese/cs/support/voice_support.jsp">http://tw.cyberlink.com/chinese/cs/support/voice_support.jsp</a>
英語	<a href="http://www.cyberlink.com/english/cs/support/new_site/voice_support.jsp">http://www.cyberlink.com/english/cs/support/new_site/voice_support.jsp</a>

言語	音声サポート URL
フランス語、 ドイツ語、 イタリア語、 スペイン語	<a href="http://de.cyberlink.com/multi/program/page/_page_display.jsp?seqno=173">http://de.cyberlink.com/multi/program/page/_page_display.jsp?seqno=173</a>
日本語	<a href="http://jp.cyberlink.com/english/cs/support/new_site/support_index_jpn.jsp">http://jp.cyberlink.com/english/cs/support/new_site/support_index_jpn.jsp</a>

## 電子メールサポート

電子メールサポートでは、技術質問用紙を使用してさまざまな言語でご利用いただけます。

特定言語の連絡情報に関しては次の一覧を参照してください。

言語	Web サポート URL
繁体字中国語	<a href="http://tw.cyberlink.com/english/cs/support/form/index.jsp">http://tw.cyberlink.com/english/cs/support/form/index.jsp</a>
英語	<a href="http://www.cyberlink.com/english/cs/support/form/index.jsp">http://www.cyberlink.com/english/cs/support/form/index.jsp</a>
フランス語、 ドイツ語、 イタリア語、 スペイン語	<a href="mailto:goCyberlink@aixtema.de">goCyberlink@aixtema.de</a>

# 索引

## Symbols

[プレビュー] ウィンドウ 49

## B

BGM、アルバムに追加する 35

## C

CD

タイプ 95

対 DVD 94

CyberLink PowerProducer 4 の新機能  
は何ですか。 92

## D

DVD 17

対 CD 94

DVD のタイプ 95

DVD フォルダの作成 57

DVD フォルダ、ディスクへに書き  
込む 90

DVD 構造、表示する 50

DV カメラ、キャプチャする 22

DV、DVD に書き込む 61

## H

HD DVD 17

HDV カメラ

DVD に書き込む 66

ブルーレイディスクに書き込む  
66

HDV カメラ、キャプチャする 24

HQ (高画質) 101

## L

LP(長時間) 101

## M

MPEG@Best 10

## P

PC カメラ

DVD に書き込む 73

キャプチャする 28

ブルーレイディスクに書き込む  
73

## R

Right-to-Disc 63, 66, 69, 73, 76

## S

Smart Fit 11  
SP(標準) 101

## T

TV チューナ  
DVD に書き込む 69  
キャプチャする 25  
ブルーレイディスクに書き込む  
69  
TV で再生可能な範囲 10  
TV で再生可能な範囲の表示 10  
TV 信号形式 11

## V

VCD 17

## あ

アスペクト比 18  
調整する 30

## アルバム

BGM を追加する 35  
スライドの最大数 22  
スライドを追加する 22  
プレビューする 49  
プロパティを表示する 35  
写真を追加する 34  
新しく作成する 34  
名前を変更する 35  
アルバムに追加できるスライドの最大数 22

## う

ウェブカメラ  
DVD に書き込む 73  
キャプチャする 28  
ブルーレイディスクに書き込む  
73

## お

オンザフライ書き込み 87  
お気に入りファイル  
テンプレートを開く 43  
保存する 43

## か

カット 31  
カメラ

DVD に書き込む 63  
 キャプチャする 22, 24  
 ブルーレイディスクに書き込む  
 63

## き

キャプチャする  
 DV カメラから 22  
 HDV カメラから 24  
 PC カメラから 28  
 TV から 25  
 デジタルカメラから 29  
 ビデオから 26

## く

クリップ  
 ストーリーボードから削除する  
 38  
 ストーリーボードの動画 38  
 プレビューする 49  
 プロパティを表示する 50  
 編集する 31  
 クリップを結合する 32  
 クリップを分割する 32

## こ

コンテンツ  
 ビデオと写真の両方を同時に使

用する 19  
 プレビューする 50  
 取得 19  
 コンテンツを取得する 19  
 DV カメラから 22  
 HDV カメラから 24  
 PC カメラから 28  
 TV から 25  
 デジタルカメラから 29  
 ビデオから 26  
 ファイルから 21

## さ

サポートするディスクとファイルの  
 形式 12  
 サムネイルの移動 38  
 サムネイルの番号 10  
 サムネイル、移動する 38

## し

シーンを検出する 45  
 シーン検出 45  
 システム要件 13

## す

ストーリーボードからクリップを削  
 除する 38  
 ストーリーボードの動画クリップ

- 38
- スライドショーの表示時間、設定
- 36
- スライド、アルバムに追加する、静止画ファイル、静止画を追加する
- 22

## そ

- ソフトウェアのアップグレード 8

## た

- タイトルサムネイル
- 画像を設定する 36
- タイトル再生後の動作 9

## ち

- チャプタ
- 削除する 46
- 設定 45
- チャプタの削除 46
- チャプタを作成する 45

## て

- ディスクイメージ
- 作成する 87

- 書き込み 88
- 保存する 89
- ディスクイメージの保存 55
- ディスクサイズ 18
- ディスクのタイプ
- サポートする 12, 94
- ディスクの書き込み 53
- ディスクメニューを変更する
- BGMを追加する 43
- テキストを編集する 43
- テンプレート 40
- ナビゲーションボタン 42
- フレーム 41
- ボタンの配置 42
- 表示されるボタン数 41
- ディスクユーティリティ 81
- DVD フォルダからの書き込み 90
- コピーする 86
- ディスクイメージ 88
- ディスクイメージを保存する 89
- 消去する 84
- ディスクをコピーする 86
- ディスクを消去する 84
- ディスク形式
- サポートする 12
- 作成用に選択する 16
- ディスク形式の選択 16
- デジタルカメラ、キャプチャする
- 29
- デフォルト
- キャプチャしたビデオのファイル名 9
- メニュー設定
- 10
- テンプレート 40
- テンプレートのダウンロード 42
- テンプレート、ダウンロードする

42

## は

バッファアンダーランエラー防止  
52, 87

## ひ

ビデオと写真の両方を同時に使用する 19

ビデオレコーディング形式 18, 97  
ビデオ入力

DVDに書き込む 76

キャプチャする 26

ブルーレイディスクに書き込む  
76

## ふ

ファーストプレイ 44

ファイル形式

サポートする 12

ファイル形式とディスクのタイプの  
互換性 99

ブルーレイディスク 17

プレイリスト

選択する 48

追加する 47

フレーム 41

プレビューする

DVD コンテンツの読み込み時 48

DVD 構造 50

アルバム 49

クリップ 49

ディスクのコンテンツ 50

ディスクのプロパティ 50

作品 49

動画ファイルの読み込み時 21

プロジェクトファイル 7

プロジェクトファイル、開く 7

プロパティ

アルバム 35

クリップ 50

## ほ

ボタン

スタイル 42

フレームのスタイル 41

ページあたりの数 41

レイアウト 42

## ま

マルチセッションディスク 94

## む

ムービーディスクの作成 15

## め

### メニュー

- BGMを追加する 43
- カスタマイズする 40
- テキストを編集する 43
- テンプレート 40
- ナビゲーションボタン 42
- ファーストプレイ 44
- フレーム 41
- ボタンの配置 42
- 表示されるボタン数 41
- メニューページをカスタマイズする 40

## も

- モーションサムネイル 10

## ゆ

- ユーティリティ 81

## よ

- ようこそ 2
- よくある質問と回答 92

- 一時保存フォルダ 9
- 音声品質： 11
- 画質
  - HQ 101
  - LP 101
  - SP 101
- 選択のヒント 101
- 画質： 11
- 開く
  - お気に入りファイル 43
  - プロジェクトファイル 7
- 開始位置 31
- 完全消去 84
- 高速消去 84
- 再生モード 9
- 再生可能な範囲 10
- 作業用フォルダ 9
- 作成
  - PowerProducer の機能 2
- 作成する
  - PowerProducer プロジェクト 7
  - アルバム 34
  - ディスクイメージファイル 87
- 作成前処理
  - ディスク作成 5
  - 書き込み準備の完了 5
- 作品
  - 概要、表示する 50
  - 作成前処理 4
  - 流れ 4
- 終了位置 31
- 書き込み
  - DVD フォルダからディスクへ 90
  - DV コンテンツを DVD に 61
  - HDV カメラから DVD へ 66



- HDV カメラからブルーレイディスクへ 66
- TV から DVD へ 69
- TV からブルーレイディスクへ 69
- ウェブカメラから DVD へ 73
- ウェブカメラからブルーレイディスクへ 73
- カメラから DVD へ 63
- カメラからブルーレイディスクへ 63
- ディスクイメージからディスクへ 88
- ビデオデッキから DVD へ 76
- ビデオデッキからブルーレイディスクへ 76
- 書き込み終了後にディスクを編集する 59
- 設定 52
- 書き込みの設定 81
- 静止画ファイル
  - スライドショーに追加する 22, 34
  - ディスクにバックアップする 36
  - 読み込む 22
- 静止画ファイルのバックアップ 36
- 選択した部分 31
- 選択した部分以外 31
- 追加する
  - BGM をアルバムに 35
  - スライドをアルバムに、静止画をアルバムに 22
  - ディスクメニューに BGM を 43
  - プレイリスト 47
  - メニューの背景に使用する画像 41
  - 写真をアルバムに 34
- 動画ファイル、読み込む 21
- 読み込む
  - 静止画ファイル 22
  - 動画ファイル 21
- 表示する
  - アルバムのプロパティ 35
  - クリップのプロパティ 50
  - 作品のサイズ 51
- 変更する
  - アルバム名 35
- 編集する
  - クリップ 31
  - ディスクメニューのテキスト 43
  - 書き込み終了後のディスク 59
- 保存する
  - お気に入りファイル 43
  - ディスクイメージ 89

